

コマツ
2017年度 第3四半期(4月-12月)
決算説明会
【電話会議】

2018年1月31日(水)

コマツ出席者

代表取締役副社長(兼)CFO 藤塚 主夫

常務執行役員経営管理部長 稲垣 泰弘

I. 2017年度 第3四半期(4月-12月)決算の概要 <P4-P14>

- P4-6 : 2017年度第3四半期(10-12月)の概況
- P7-8 : 2017年度第3四半期(4-12月)の概況
- P9-11 : <建設機械・車両> 2017年度第3四半期(4-12月)の状況、KMC*の概況
- P12 : <リテールファイナンス> 2017年度第3四半期(4-12月)の状況
- P13 : <産業機械他> 2017年度第3四半期(4-12月)の状況
- P14 : 連結貸借対照表

II. 2017年度の見通し <P16-P25>

- P16 : 2017年度の見通し(概況・セグメント売上高・利益)
- P17-22 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し(全体及び地域別)
- P23-24 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要・売上高の見通し
- P25 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

参考資料 <P27-P34>

- P27-31 : 四半期毎の状況
- P32-34 : BBレシオ〔受注/売上指数(6ヶ月)〕

* KMCはコマツマイニング(Komatsu Mining Corp.)を示す。

I. 2017年度 第3四半期(4月-12月)決算の概要

注記

2017年4月5日、ジョイ・グローバル社(Joy Global Inc.)の買収が完了しました。

その後、4月19日に商号をコマツマイニング (Komatsu Mining Corp. (以下KMC)) に変更しています。

2017年度第1四半期の決算数値より、連結子会社となったKMCの業績が含まれています。

- ・ 連結売上高は前年同期比+50.2%増収の6,468億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+76.1%増益の755億円。売上高営業利益率は同+1.7ポイント増の11.7%。
- ・ 純利益は前年同期比+73.0%増益の533億円。

金額単位：億円	2016年10-12月	2017年10-12月		前年同期比		
	¥106.9/USD ¥116.7/EUR ¥15.7/RMB	¥113.0/USD ¥133.2/EUR ¥17.0/RMB	*1 従来コマツ	KMC	増減	増減率
連結売上高	4,305	6,468	5,614	853	+2,162	+50.2%
セグメント利益	436	871	824	*2 46	+435	+99.9%
その他の営業収益(▲費用)	▲7	▲115	▲117	1	▲108	-
営業利益	428	755	707	*2 48	+326	+76.1%
売上高営業利益率	10.0%	11.7%	12.6%	5.7%	+1.7ポイント	-
その他の収益(▲費用)	22	▲43			▲66	-
税引前純利益	451	712			+260	+57.7%
純利益*3	308	533			+224	+73.0%

*1 KMCの影響を除いたコマツの従来ベースの業績を示している。

*2 KMCのセグメント利益および営業利益には右記の一時費用の影響が含まれている。

*3 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

PPAによる償却費 ※	▲36億円
スタートアップ費用ほか	▲4億円
合 計	▲41億円

※ PPAは Purchase Price Allocation
(パーチェス・プライス・アロケーション)の略
資産・負債を公正価値評価/配分する手続き

- ・建設機械・車両部門の売上高は+56.8%増収の5,945億円。セグメント利益は+106.0%増益の801億円。セグメント利益率は+3.2ポイント改善し 13.5%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は+16.6%増収の147億円。セグメント利益は+19.3%増益の30億円。
- ・産業機械他部門の売上高は前年同期並みの423億円。セグメント利益は+79.9%増益の43億円。

□ : 利益(▲損失)率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2016年10-12月		2017年10-12月		前年同期比	
					増減	増減率
売上高	4,305	6,468	従来コマツ 5,614	KMC 853	+2,162	+50.2%
建設機械・車両	(3,766) 3,790	(5,917) 5,945	(5,064) 5,091	(853) 853	(+2,151)+2,154	(+57.1%) +56.8%
リテールファイナンス	(120) 126	(130) 147	(130) 147	-	(+10) +20	(+8.9%) +16.6%
産業機械他	(419) 422	(419) 423	(419) 423	-	(▲0) +0	(▲0.0%) +0.2%
消去	▲33	▲47	▲47	-	▲13	-
セグメント利益	10.1% 436	13.5% 871	14.7% 824	5.5% 46	+435	+99.9%
建設機械・車両	10.3% 389	13.5% 801	14.8% 755	5.5% 46	+412	+106.0%
リテールファイナンス	20.2% 25	20.6% 30	20.6% 30	-	+4	+19.3%
産業機械他	5.7% 23	10.2% 43	10.2% 43	-	+19	+79.9%
消去または全社	▲2	▲4	▲4	-	▲1	-

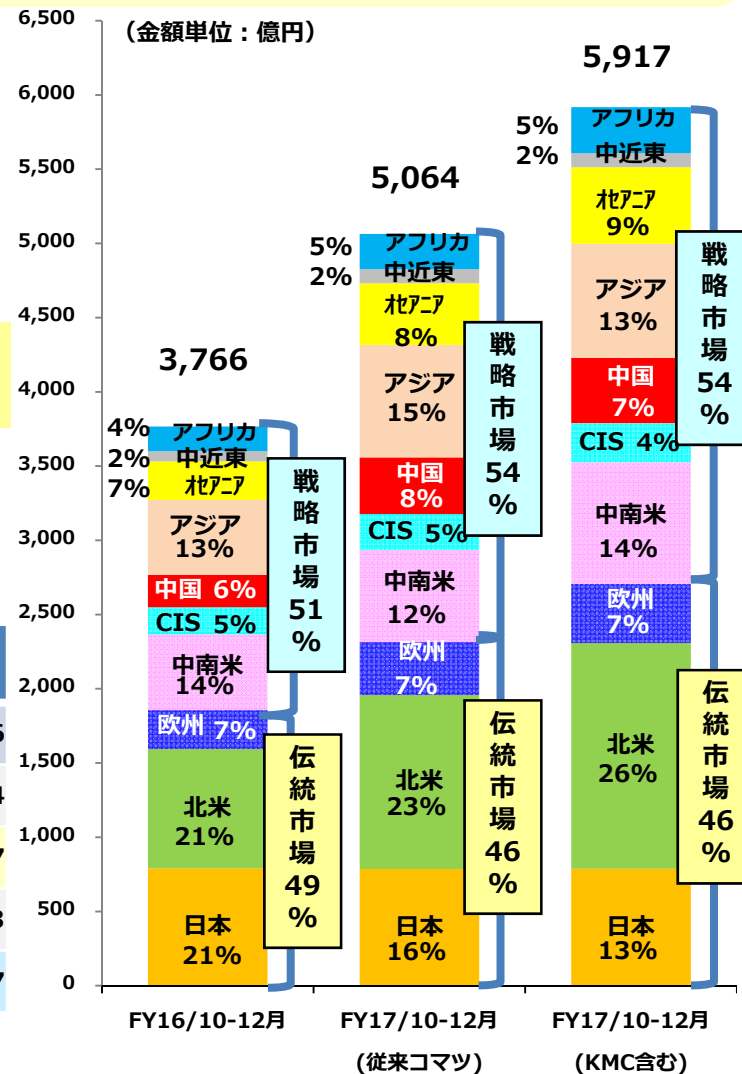
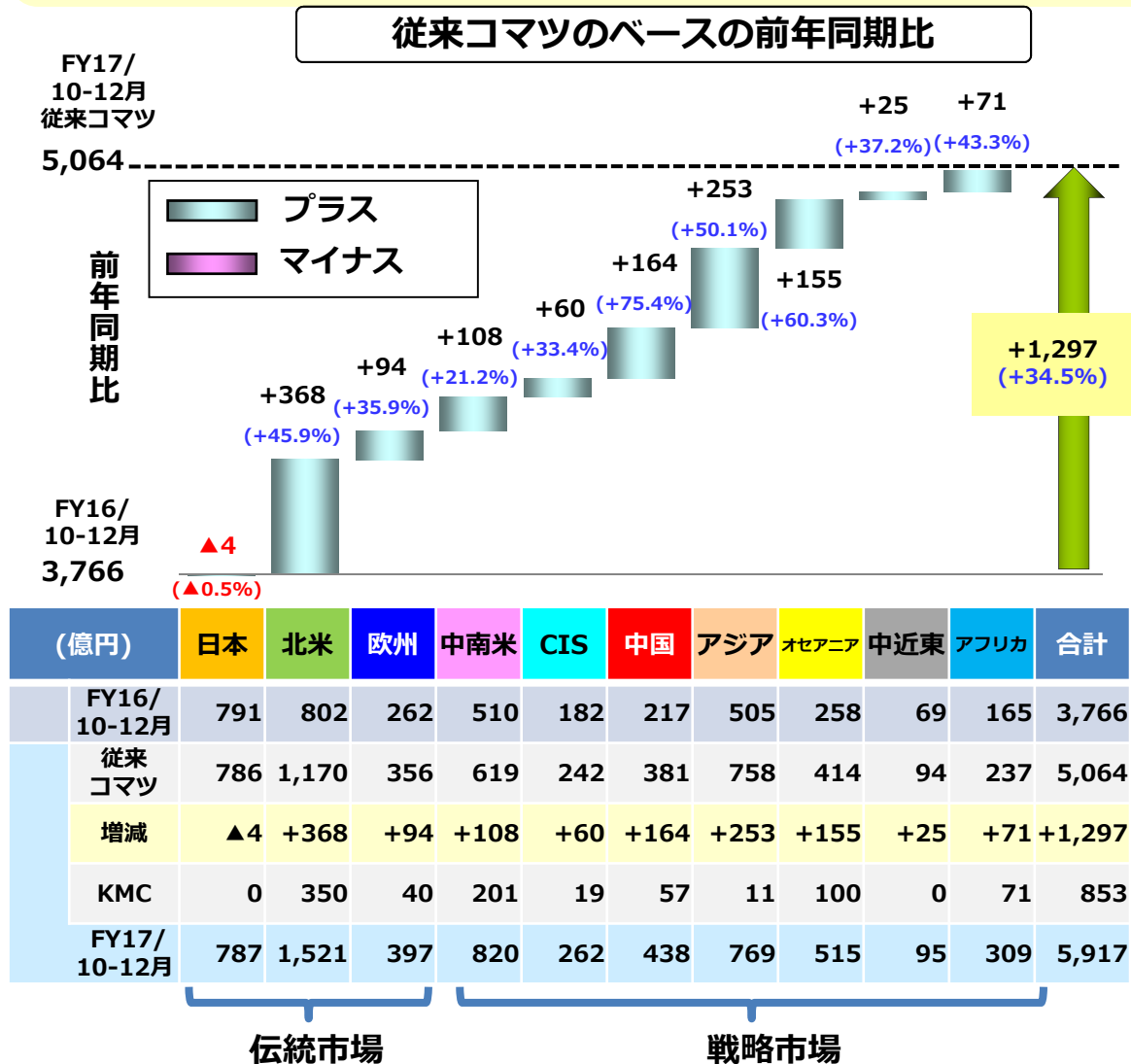
各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
北米・中国・アジア・オセアニアなどでの売上の増加に加え、KMCの新規連結の影響により増収増益。
- リテールファイナンス
主に北米での資産の増加などに伴い、増収増益。
- 産業機械他
売上高は前年同期並み。自動車業界向けの工作機械の販売が増加したことなどに伴い増益。

2017年度 第3四半期(10-12月)の地域別売上高 (外部顧客向け)

- 外部顧客向け売上高は前年同期比+57.1%増収の5,917億円。そのうち、KMCを除く従来コマツの売上高では前年同期比+34.5%増収の5,064億円。
- 従来コマツでは、日本を除く地域で売上高が増加。特に、北米・中国・アジア・オセアニアでの売上高が増加。
- 戦略市場の比率は54%に上昇。(KMCを含む全体での戦略市場比率も54%)

従来コマツのベースの前年同期比



- ・ 連結売上高は前年同期比+47.2%増収の1兆8,058億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+75.8%増益の1,881億円。売上高営業利益率は同+1.7ポイント増の10.4%。
- ・ 純利益は前年同期比+126.9%増益の1,550億円。

金額単位：億円	2016年4-12月 ¥106.5/USD ¥118.5/EUR ¥16.0/RMB	2017年4-12月		前年同期比		
		¥111.7/USD ¥128.2/EUR ¥16.6/RMB	*1 従来コマツ	KMC	増減	増減率
連結売上高	12,267	18,058	15,694	2,363	+5,790	+47.2%
セグメント利益 (▲損失)	1,078	2,008	2,160	*2 ▲152	+930	+86.3%
その他の営業収益(▲費用)	▲8	▲126	▲127	0	▲118	-
営業利益 (▲損失)	1,070	1,881	2,033	*2 ▲151	+811	+75.8%
売上高営業利益率 (▲損失率)	8.7%	10.4%	13.0%	▲6.4%	+1.7ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲37	271			+309	-
税引前純利益	1,032	2,153			+1,120	+108.5%
純利益 *3	683	1,550			+867	+126.9%

*1 KMCの影響を除いたコマツの従来ベースの業績を示している。

*2 KMCのセグメント損失および営業損失には右記の一時費用の影響が含まれている。

*3 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

※ PPA は Purchase Price Allocation (パーチェス・プライス・アロケーション)の略。資産・負債を公正価値評価/配分する手続き

PPAによる償却費 ※	▲367億円
スタートアップ費用ほか	▲41億円
合計	▲408億円

- ・建設機械・車両部門の売上高は+53.9%増収の1兆6,589億円。セグメント利益は+90.5%増益の1,839億円。セグメント利益率は+2.1ポイント改善し、11.1%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は+27.3%増収の459億円。セグメント利益は+32.3%増益の89億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期並みの1,214億円。セグメント利益は+41.7%増益の91億円。

□ : 利益(▲損失)率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2016年4-12月		2017年4-12月		前年同期比					
					増減	増減率				
売上高	12,267	18,058	15,694	2,363	+5,790	+47.2%				
建設機械・車両	(10,719)	10,777	(16,486)	16,589	(+5,767)	+5,812	(+53.8%)	+53.9%		
リテールファイナンス	(343)	361	(367)	459	(+24)	+98	(+7.2%)	+27.3%		
産業機械他	(1,204)	1,212	(1,204)	1,214	(▲0)	+2	(▲0.1%)	+0.2%		
消去	▲83	▲206	▲206	-	▲122	-	-	-		
セグメント利益 (▲損失)	8.8%	1,078	11.1%	2,008	13.8%	2,160	▲6.4%	▲152	+930	+86.3%
建設機械・車両	9.0%	965	11.1%	1,839	14.0%	1,991	▲6.4%	▲152	+874	+90.5%
リテールファイナンス	18.7%	67	19.5%	89	19.5%	89	-	-	+21	+32.3%
産業機械他	5.3%	64	7.5%	91	7.5%	91	-	-	+26	+41.7%
消去または全社	▲19	▲11	▲11	▲11	-	-	-	-	+7	-

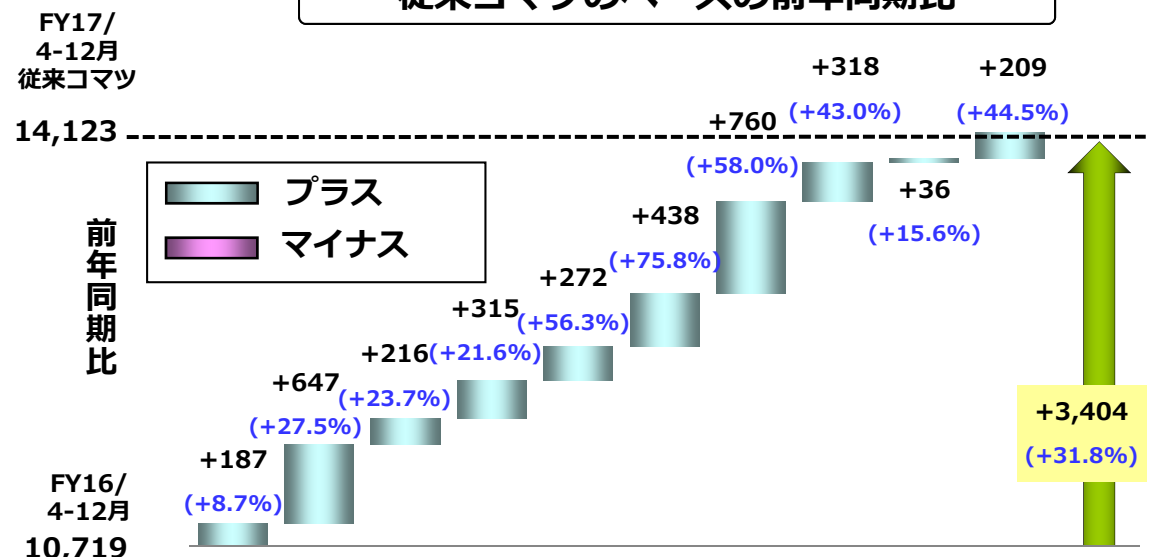
各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
北米・中国・アジアなどでの売上の増加に加え、KMCの新規連結の影響により増収。
利益面はKMCの一時費用のマイナス影響でKMCは営業損失となったが、従来コマツの方で利益が拡大した結果、全体として増益。
- リテールファイナンス
主に北米での資産の増加などに伴い増収。利益面も前年同期に計上した中国での債権に係る引当金の影響が無くなったことから増益。
- 産業機械他
売上高は前年同期並み。自動車業界向けの工作機械の販売が増加したことなどに伴い増益。

2017年度 第3四半期(4-12月)の地域別売上高 (外部顧客向け)

- 外部顧客向け売上高は前年同期比+53.8%増収の1兆6,486億円。そのうち、KMCを除く従来コマツの売上高は前年同期比+31.8%増収の1兆4,123億円。
- 従来コマツの売上高は、すべての地域で売上高が増加。特に、北米・中国・アジアでの売上高が増加。
- 戦略市場の比率は54%に上昇。(KMCを含む全体での戦略市場比率も54%)

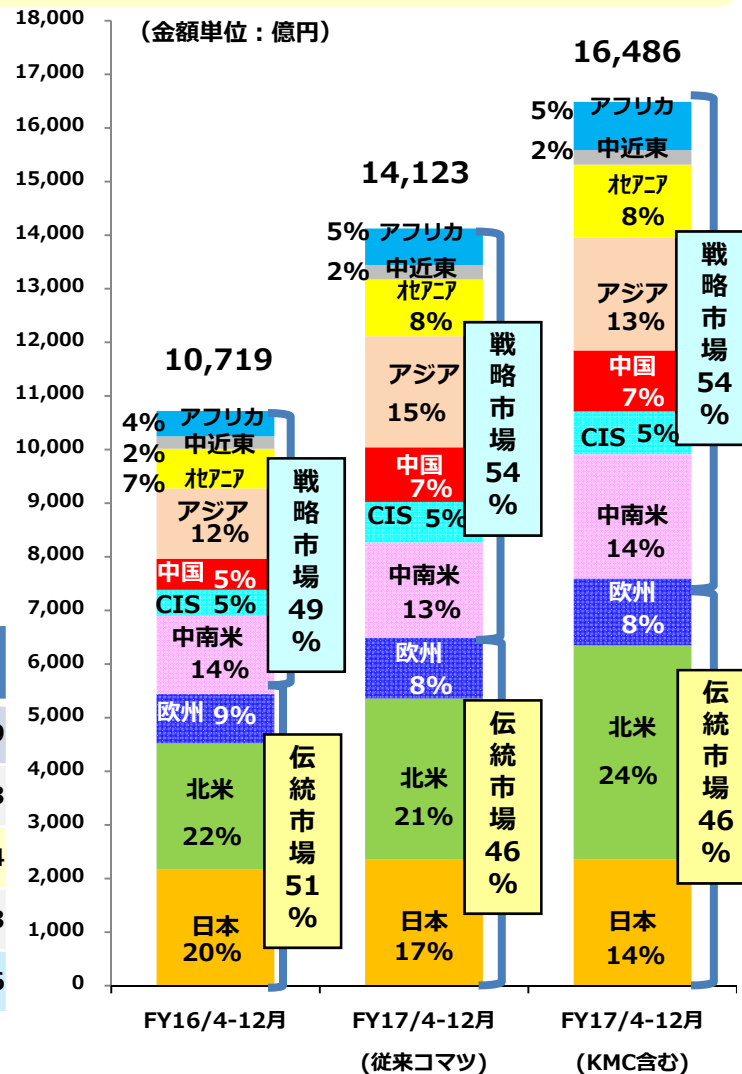
従来コマツのベースの前年同期比



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
FY16/4-12月	2,165	2,357	915	1,461	485	579	1,310	740	232	470	10,719
従来コマツ	2,352	3,005	1,132	1,776	758	1,017	2,071	1,059	269	679	14,123
増減	+187	+647	+216	+315	+272	+438	+760	+318	+36	+209	+3,404
KMC	0	990	111	544	37	121	29	307	1	219	2,363
FY17/4-12月	2,352	3,996	1,244	2,321	795	1,139	2,100	1,366	270	898	16,486

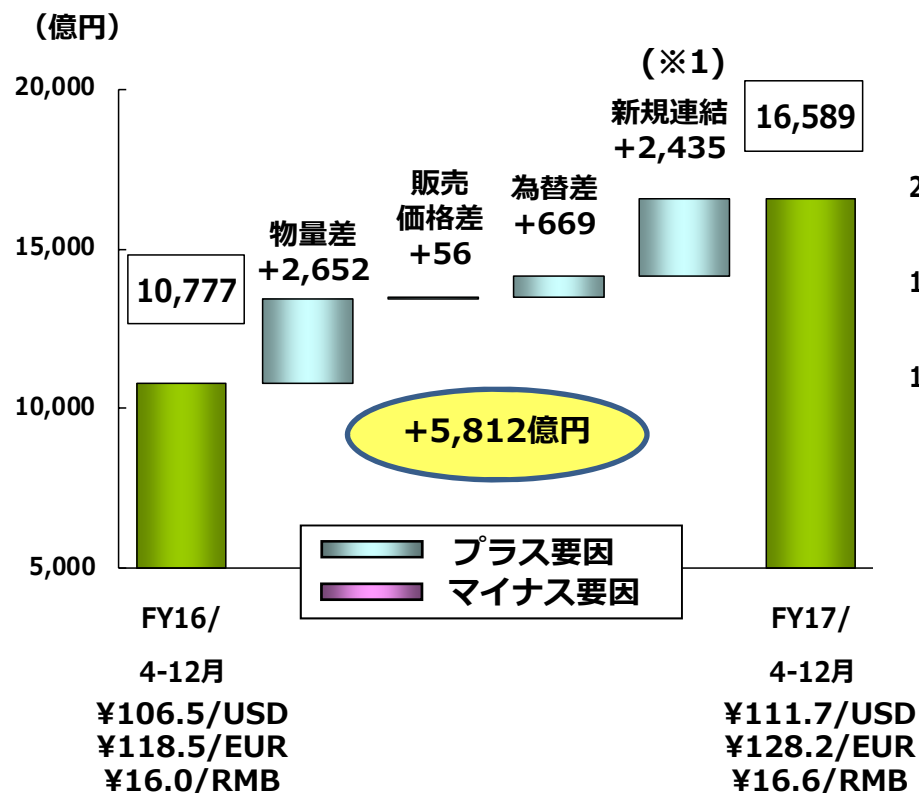
伝統市場

戦略市場

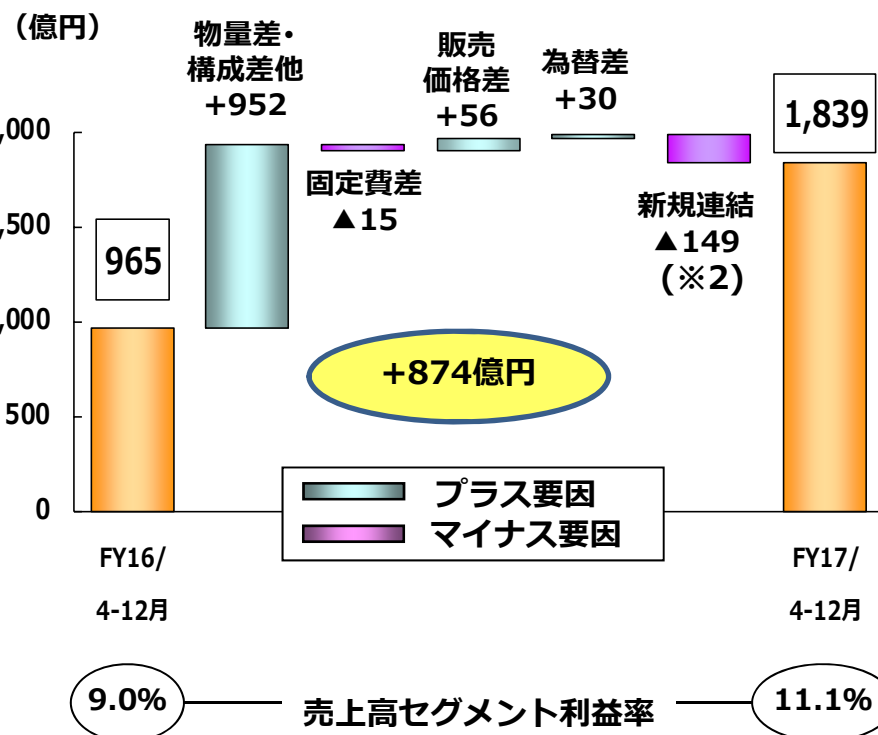


- ・売上高は物量の増加、為替のプラス影響に加え、KMCの新規連結の影響により、前年同期比+5,812億円の増収。
- ・セグメント利益はKMCの一時費用のマイナス影響があるものの、全体としては+874億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比+2.1ポイント増の11.1%。

売上高
FY2016/4-12月 vs. FY2017/4-12月



セグメント利益
FY2016/4-12月 vs. FY2017/4-12月



(※1)KMC新規連結の影響+2,363億円を含む

(※2)KMC新規連結の影響▲152億円を含む

＜建設機械・車両＞2017年度 第3四半期(4-12月)KMCの概況

- ・売上高は、前年同期比+20.7%増収の2,363億円。
- ・一時費用を除く営業利益は256億円。一時費用▲408億円を含めると▲151億円の営業損失。

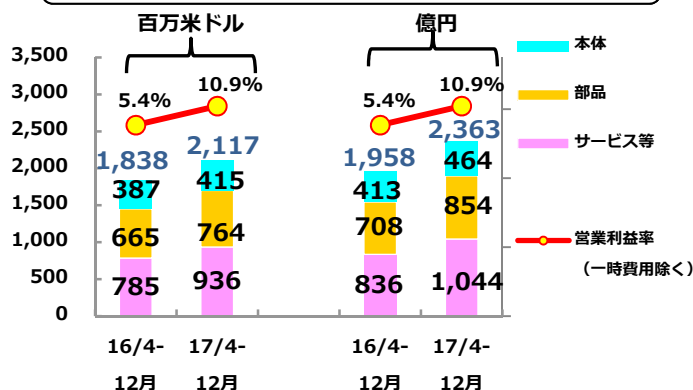
(金額単位：億円)	2016年4-12月 (参考)※1 (¥106.5/USD)		2017年4-12月 (¥111.7/USD)		前年同期比(参考)	
					増減	増減率
売上高	1,958	2,363	+404	+20.7%		
本体	413	464	+51	+12.4%		
部品	708	854	+146	+20.6%		
サービス等	836	1,044	+208	+24.9%		
営業利益 <一時費用を除く>	5.4% 104	10.9% 256	+152	+145.6%		
一時費用 (マイナスで表記)	▲93	▲408	▲314	-		
PPAによる償却費 ※2	-	※3 ▲367	▲367	-		
スタートアップ費用ほか	▲93	▲41	+52	-		
営業利益 (▲損失) <一時費用を含む>	0.6% 10	▲6.4% ▲151	▲162	-		

※1：前年同期である2016年4-12月(コマツの決算期に組替)の数値を参考に記載している。

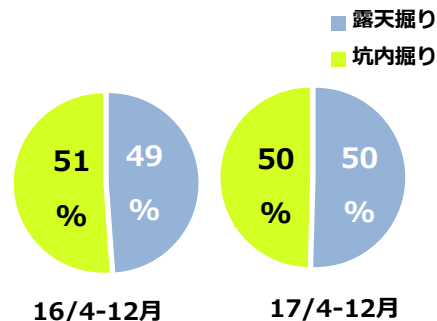
※2：PPAは、Purchase Price Allocation(パーチェス・プライス・アロケーション)の略で資産・負債を公正価値評価/配分する手続き

※3：うち棚卸資産に係るPPAによる償却費 ▲258億円(上期に計上済)

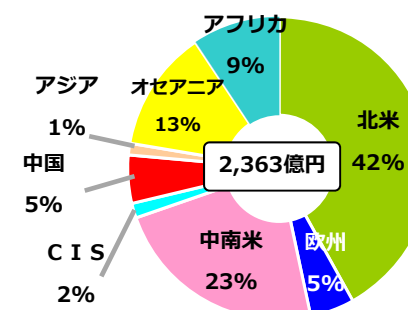
四半期別売上高・営業利益率の推移



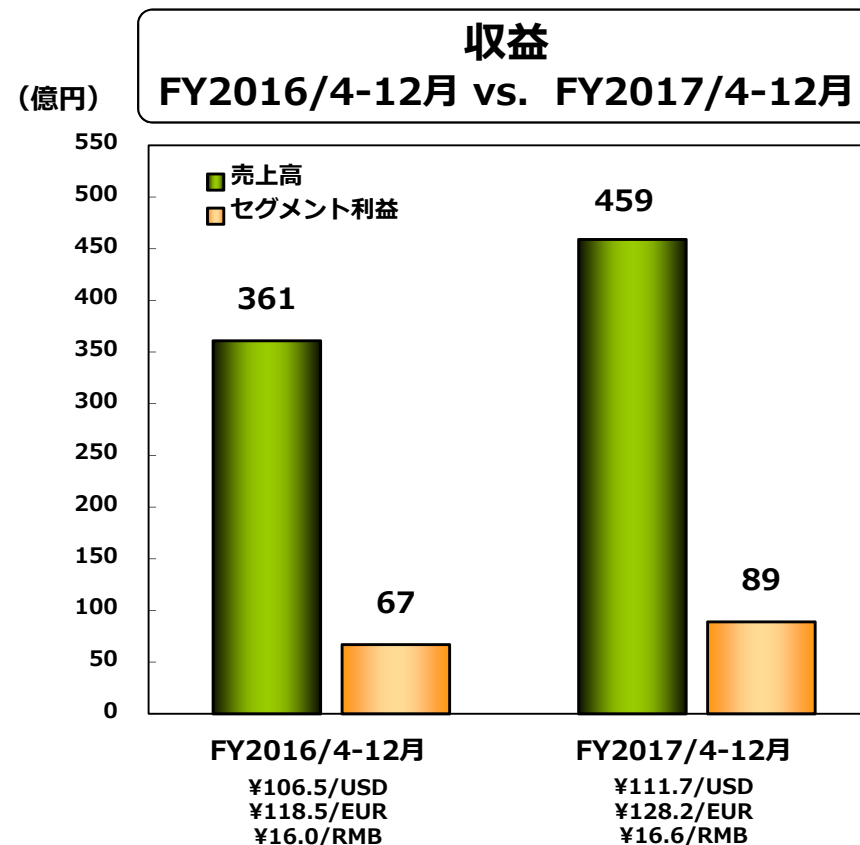
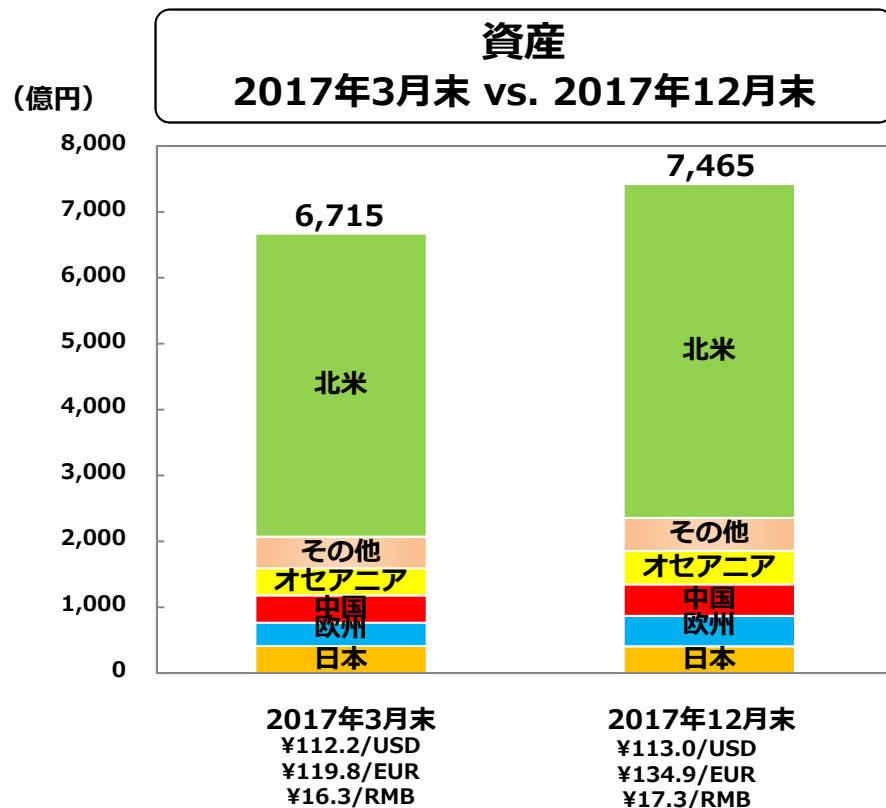
セグメント別売上高



FY17/4-12月地域別売上高 (外部顧客向け)

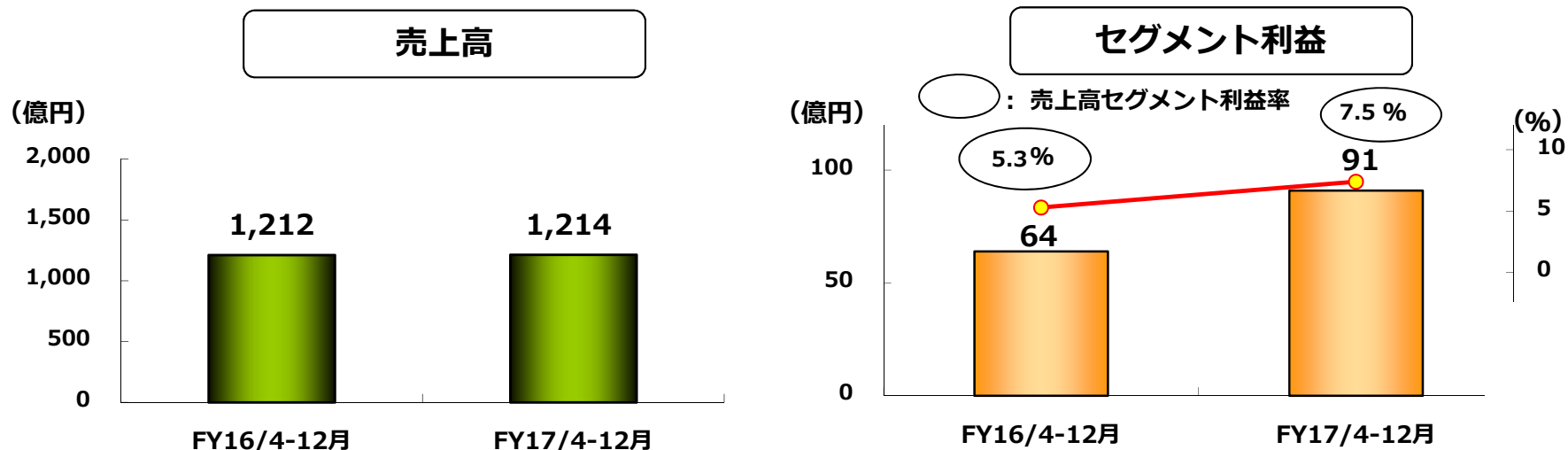


- ・資産は主に北米等でファイナンス契約が増加したことにより増加。
- ・収益は主として、前年同期に中国で計上した引当金の影響が無くなったことにより増益。



	2017/3E	2017/12E	2017/3E比
借入金	5,060	5,667	+607
ネットベースの借入金	5,012	5,597	+584
ネットD/Eレシオ	3.65	3.77	+0.12ポイント

- ・売上高は前年同期並みの1,214億円。
- ・自動車業界向けの工作機械の販売が増加したことなどに伴い増益。売上高セグメント利益率は7.5%。



売上高の内訳

金額単位：億円	FY16/ 4-12月	FY17/ 4-12月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機等(プレス事業合計)	365	327	▲37	▲10.3%
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	335 [86]	432 [48]	+97 [▲37]	+29.1% [▲43.6%]
ギガフォトン	233	272	+38	+16.3%
その他	278	183	▲95	▲34.4%
合計	1,212	1,214	+2	+0.2%

連結貸借対照表

- ・総資産はKMCの新規連結の影響、および棚卸資産が増加したことに伴い、前年度末比で+8,035億円の増加。
- ・借入金・社債については、KMC買収等により、前年度末比で+4,760億円増加の8,847億円。
- ・株主資本比率は前年度末比▲10.7ポイント減の48.7%。

(金額単位：億円)	2017年3月末 ¥112.2/USD ¥119.8/EUR ¥ 16.3/RMB	2017年12月末 ¥113.0/USD ¥134.9/EUR ¥ 17.3/RMB	増減	2017年12月末 KMC 新規連結の影響
現金・預金（含む定期預金） [a]	1,221	1,677	+456	235
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	9,332	11,390	+2,058	858
棚卸資産	5,338	7,574	+2,235	1,144
有形固定資産	6,790	7,678	+888	848
その他資産	3,881	6,278	+2,396	2,786
資産合計	26,564	34,599	+8,035	5,872
支払手形・買掛金	2,401	3,033	+632	319
借入金・社債 [b]	4,087	8,847	+4,760	1,283
その他負債	3,591	5,053	+1,462	1,080
負債合計	10,079	16,934	+6,854	2,682
(株主資本比率)	(59.4%)	(48.7%)	(▲10.7ポイント)	
株主資本	15,766	16,849	+1,082	
非支配持分	718	815	+97	
負債及び純資産合計	26,564	34,599	+8,035	
→ 連結上の借入金・社債 [b-a]	2,865	7,164	+4,304	
→ 連結D/E比率	0.18	0.43		

Ⅱ. 2017年度の見通し

・これまで9カ月間の全社の売上高・利益は見通しに対して強めに出ている状況であり、この状況は第4四半期も継続すると見ているが、第4四半期の為替や中国の春節明けの需要動向なども考慮し、今回、年間の業績見通しについては変更していない。(以下に昨年10月の公表値を掲載)

金額単位：億円	2016年度	2017年度		2017年度			前年比(B-A)		
	(A)	見通し(10月) (B)	従来コマツ	KMC	見通し(期初) (C)	従来コマツ	KMC	増減	増減率
	¥108.6/USD ¥119.3/EUR ¥16.2/RMB	¥108.0/USD ¥124.4/EUR ¥16.0/RMB	* 1		¥105.0/USD ¥115.0/EUR ¥15.0/RMB	* 1			
連結売上高	18,029	23,280	20,370	2,910	21,350	18,800	2,560	+5,250	+29.1%
セグメント利益(▲損失)	1,765	2,360	2,560	* 2 ▲200	1,640	2,030	* 2 ▲390	+594	+33.7%
その他の営業収益(▲費用)	▲24	▲200	▲200	-	▲80	▲80	-	▲175	-
営業利益(▲損失)	1,740	2,160	2,360	* 2 ▲200	1,560	1,950	* 2 ▲390	+419	+24.1%
売上高営業利益率(▲損失率)	9.7%	9.3%	11.6%	▲6.9%	7.3%	10.4%	▲15.2%	▲0.4 ¹⁾ ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲76	210			▲150			+286	-
税引前純利益	1,664	2,370			1,410			+705	+42.4%
純利益* 3	1,133	1,590			920			+456	+40.2%
ROE	7.3%	10.1%			5.9%			+2.8 ¹⁾ ポイント	
1株当たり配当金(円)	58円	72円			58円			+14円	
連結配当性向	48.2%	42.7%			59.5%				

※ PPAはPurchase Price Allocation (パーチェス・プライス・アロケーション)の略。資産・負債を公正価値評価/配分する手続き

* 1 KMCの影響を除いたコマツの従来ベースの業績を示している。

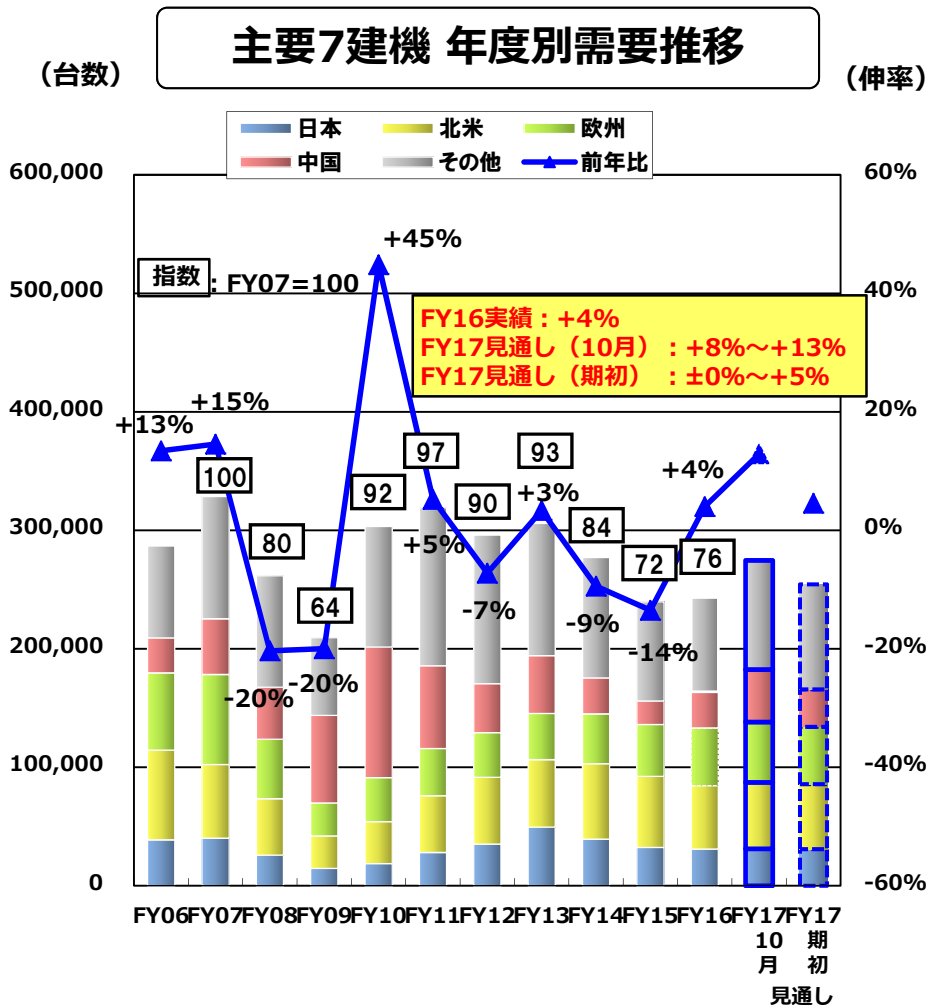
* 2 KMCのセグメント損失および営業損失には右記の一時費用の影響が含まれている。

* 3 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

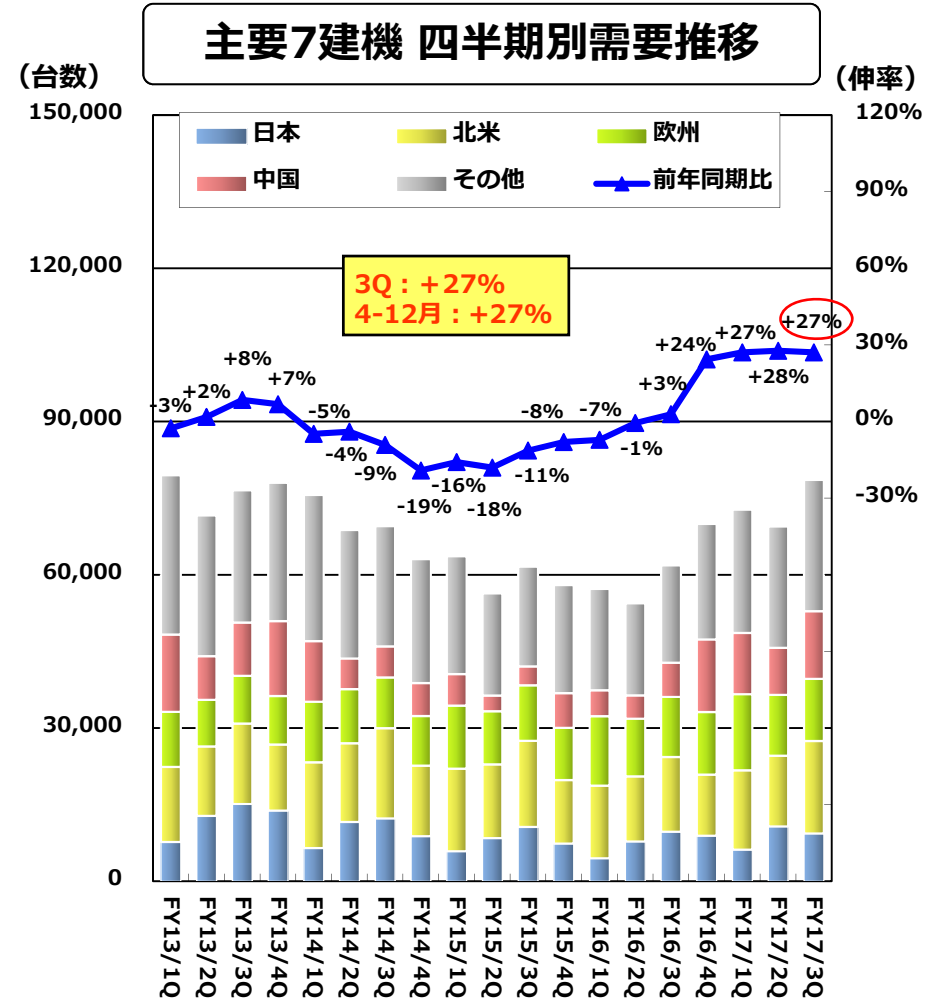
	17年度 見通し(10月)	17年度 見通し(期初)
PPAによる償却費 ※	▲400億円	▲390億円
スタートアップ費用ほか	▲60億円	▲90億円
合計	▲460億円	▲480億円

<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・ 2017年度第3四半期(3ヶ月および累計)の需要は、前年同期比+27%増加。
- ・ 主要7建機の需要は、全体として前年同期比で増加している状況であり、北米を中心にこの傾向は第4四半期も続くとしているが、今回、年間需要については、10月公表から見通しを変更していない。



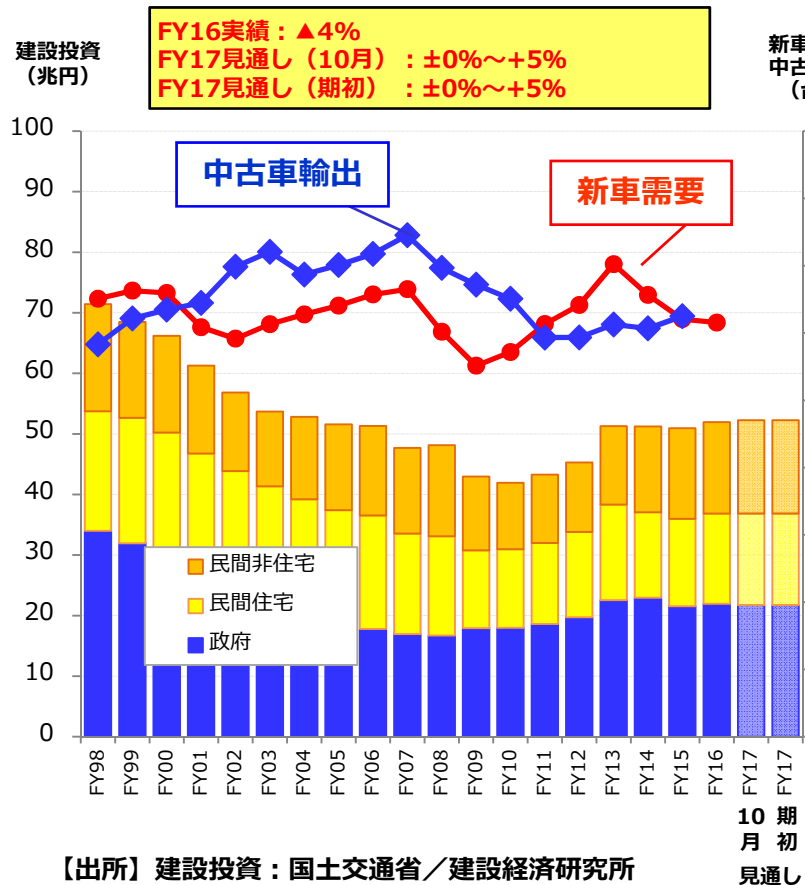
【出所】 主要7建機需要: コマツの推定



<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：①日本

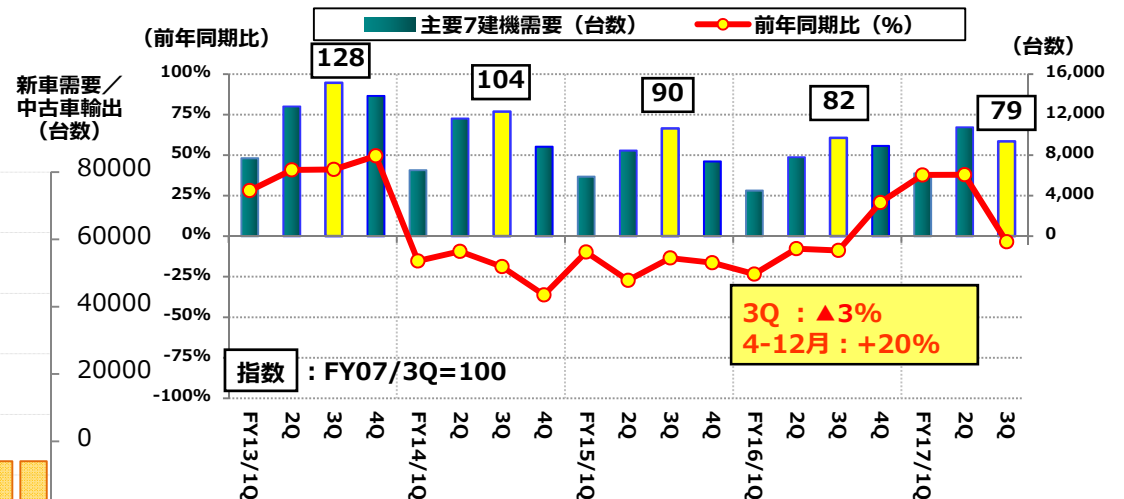
- ・ 2017年度第3四半期の需要は、前年同期比▲3%減少。
- ・ 国内排ガス規制（2017年9月開始）前の駆け込み需要の反動減などにより新車需要が減少。

新車需要（主要7建機）と建設投資

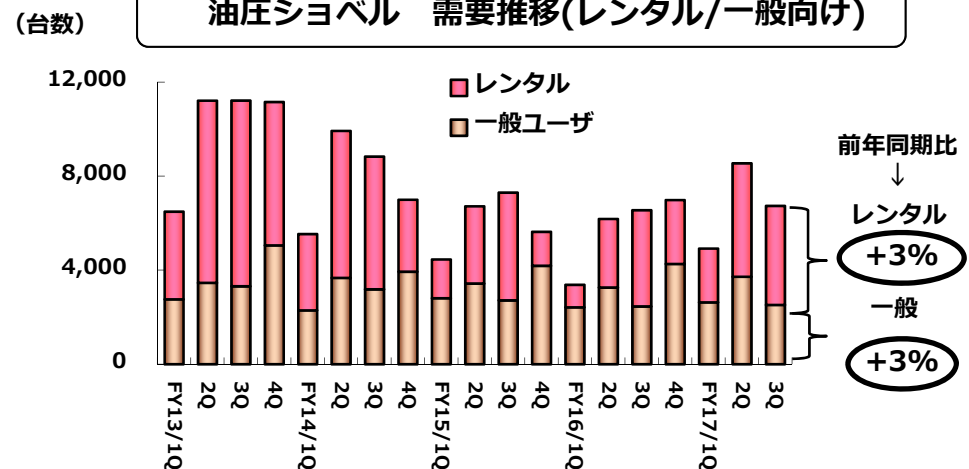


【出所】 建設投資：国土交通省／建設経済研究所
主要7建機需要：コマツの推定
中古車輸出货量：コマツの推定

主要7建機 四半期別需要推移



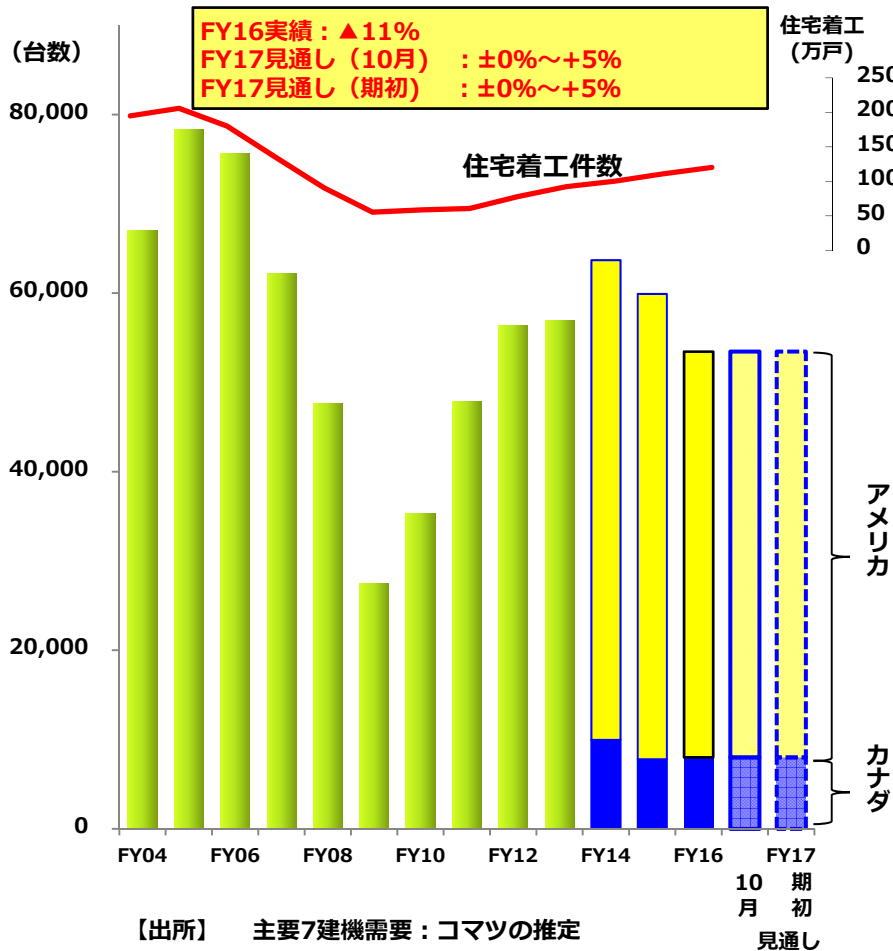
油圧ショベル 需要推移(レンタル/一般向け)



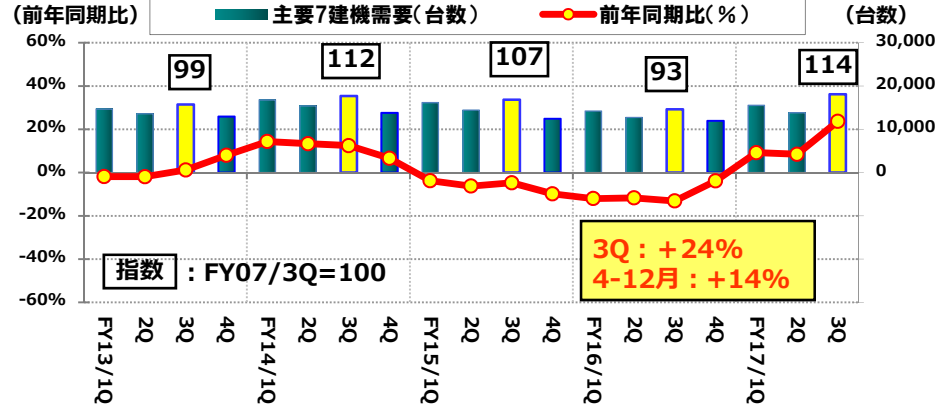
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・ 2017年度第3四半期の需要は、前年同期比+24%増加。
- ・ アメリカにおいて、インフラおよびエネルギー関連向けを中心に需要は引き続き堅調に推移し、低迷していたレンタル向けも増加。
- ・ 需要は前年同期比で増加しており、第4四半期も同様な状況が続くと見ている。

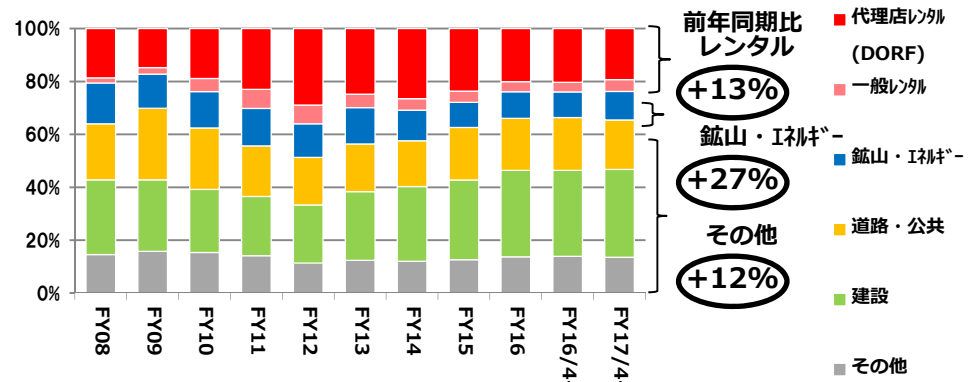
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



主要7建機 四半期需要推移



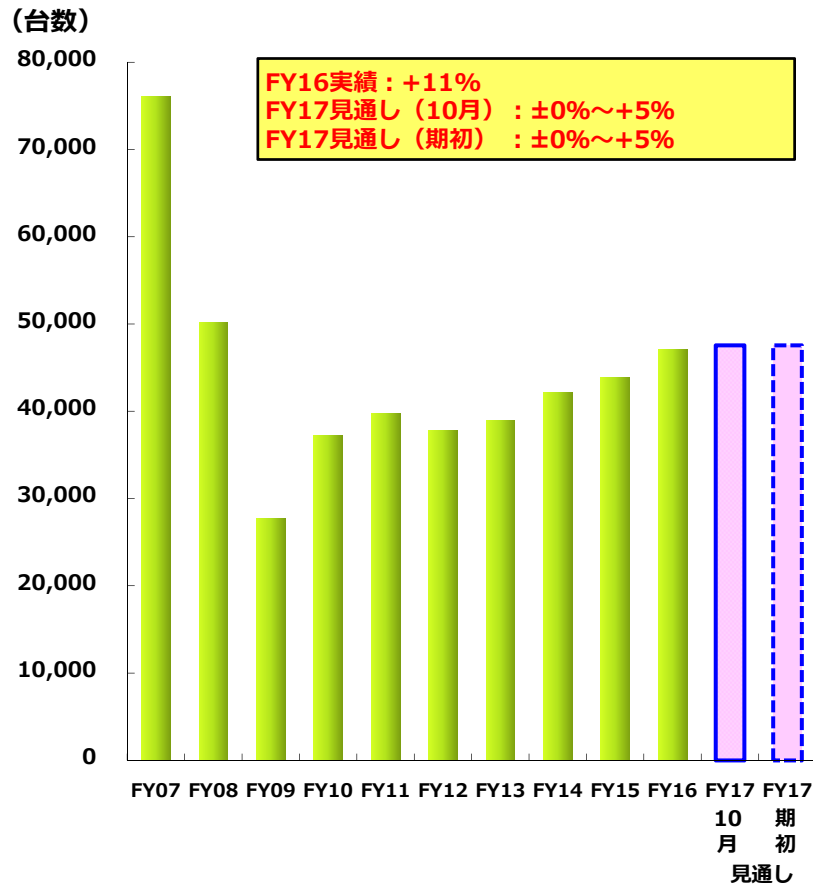
セグメント別需要構成比(台数ベース)



＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：③ 欧州

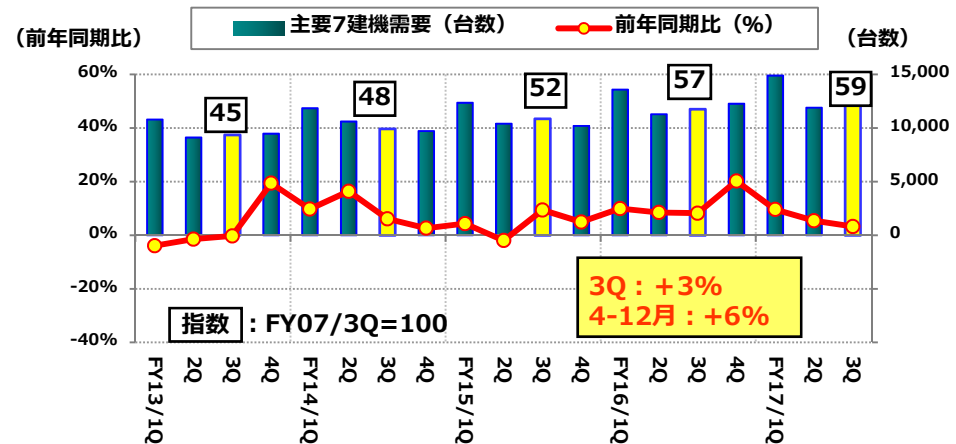
・ 2017年度第3四半期の需要は、前年同期比+3%増加。
 ・ 引き続き主要市場であるドイツを中心に堅調に推移。

主要7建機 年度別需要推移

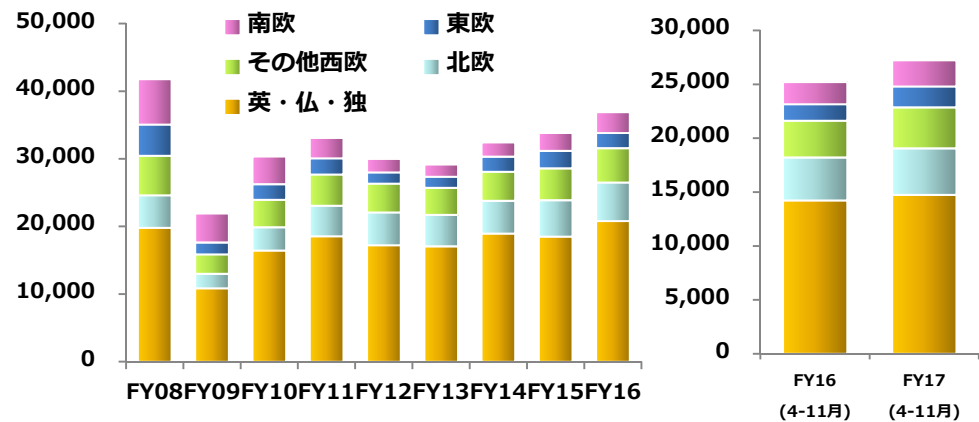


【出所】 主要7建機需要: コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移

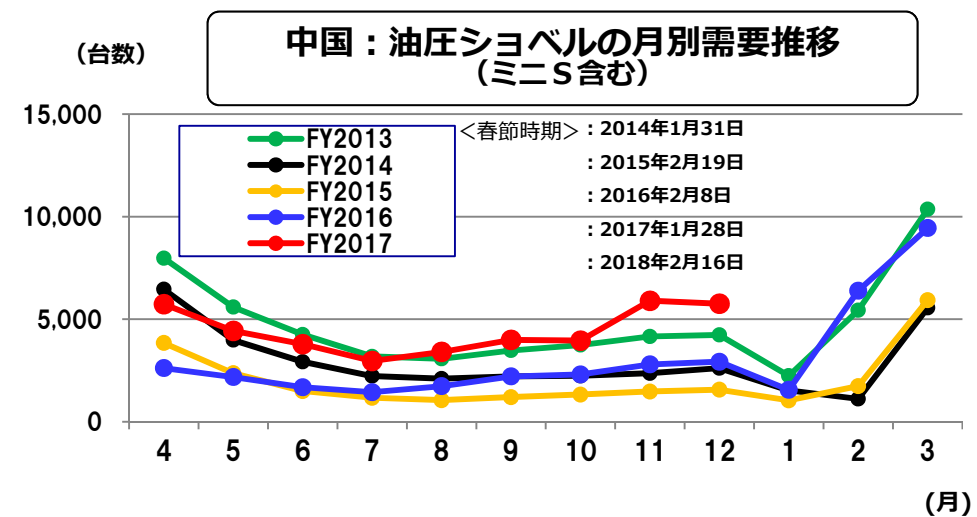
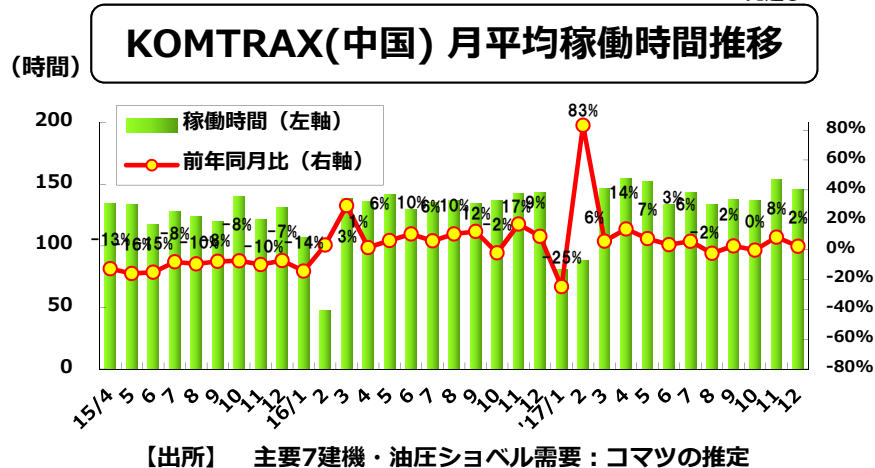
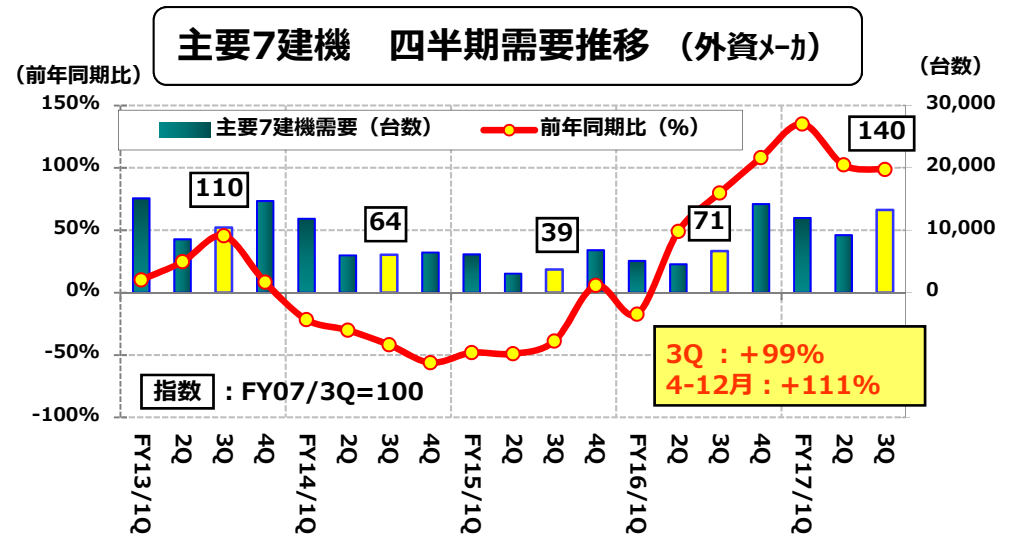
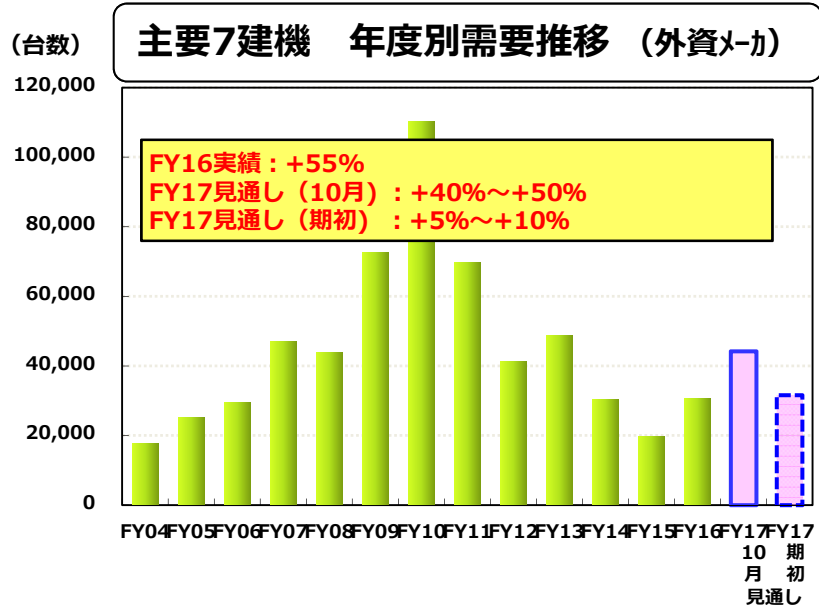


主要7建機(6tクラス除く)地域別需要



<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：④中国

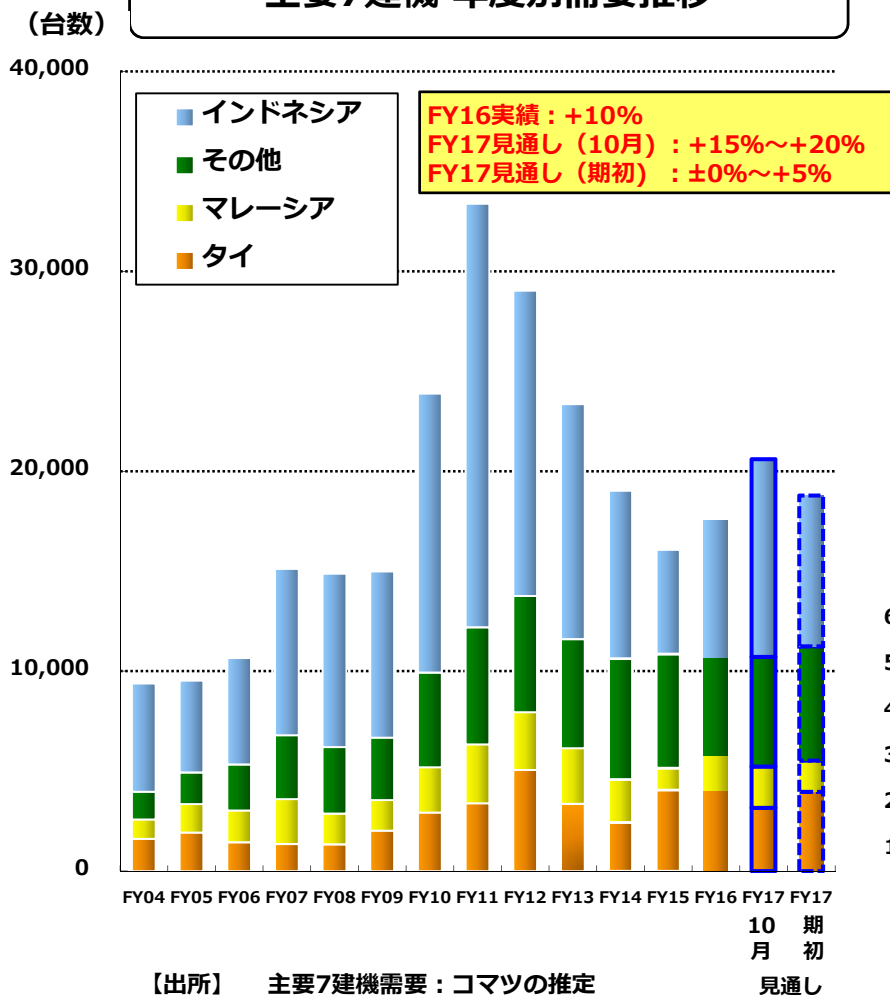
・ 2017年度第3四半期の需要は、前年同期比+99%増加。
 ・ 引き続きインフラ工事が進行し、一般建機の需要が増加。



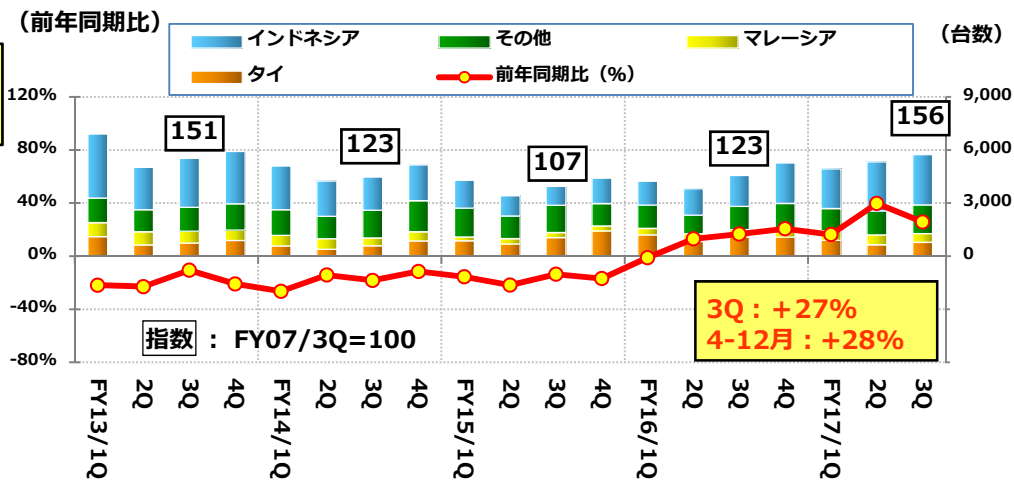
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し： ⑤ 東南アジア

- ・ 2017年度第3四半期の需要は、前年同期比+27%増加。
- ・ 最大市場のインドネシアで、特にマイニングの需要が増加。

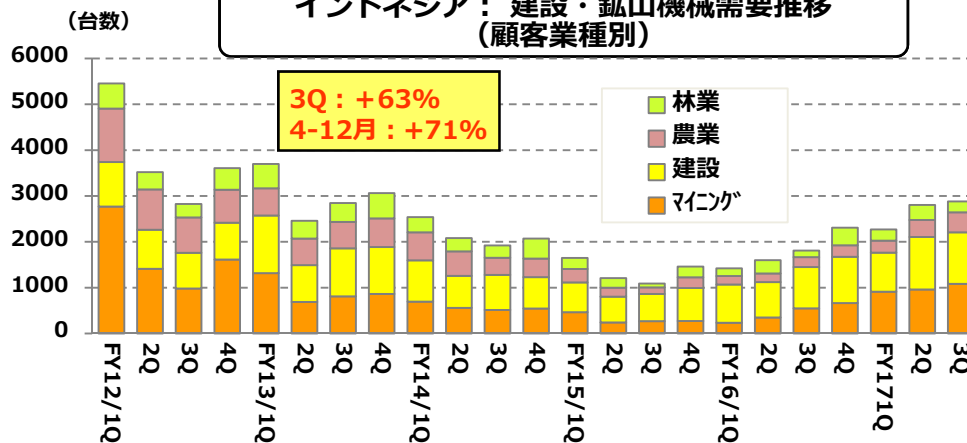
主要7建機 年度別需要推移



主要7建機 四半期需要推移



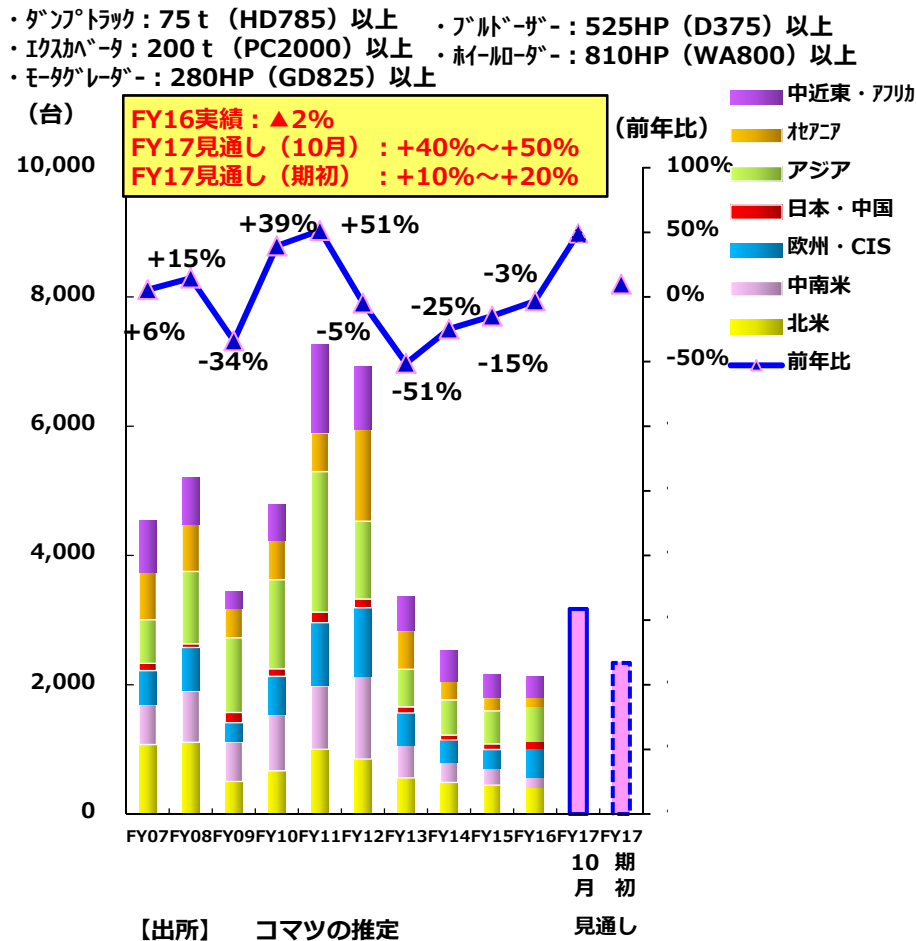
インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)



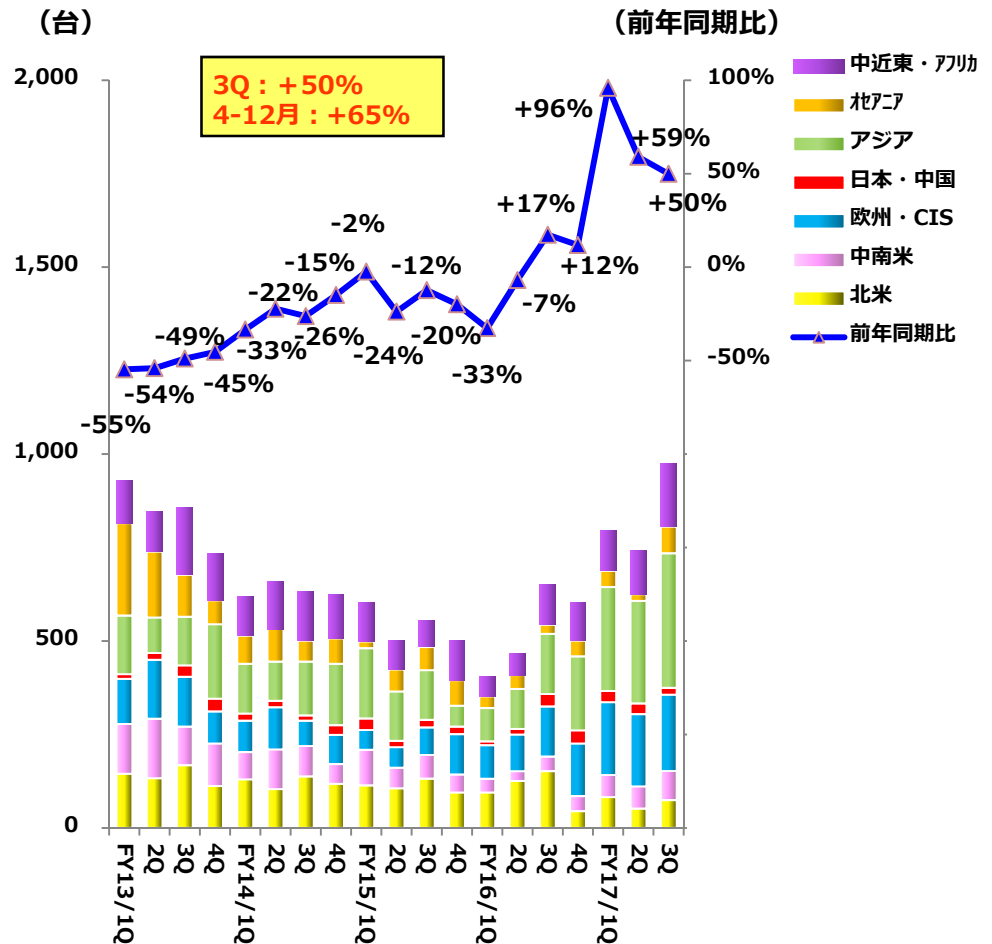
<建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と見通し

- ・2017年度第3四半期の鉱山機械の世界需要は、前年同期比+50%増加。
- ・引き続きインドネシアなどで需要が増加。
- ・年間の需要は、10月公表時の見通しから変更なし。

鉱山機械 年度別需要推移

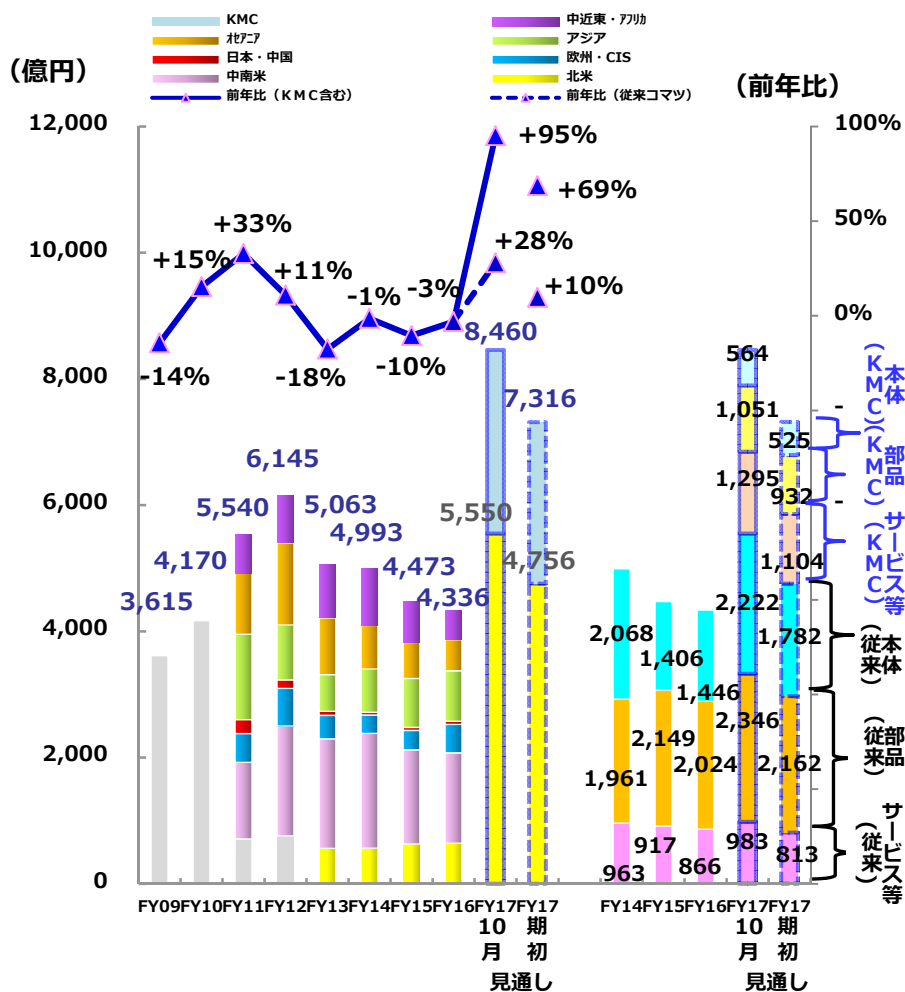


鉱山機械 四半期別需要推移

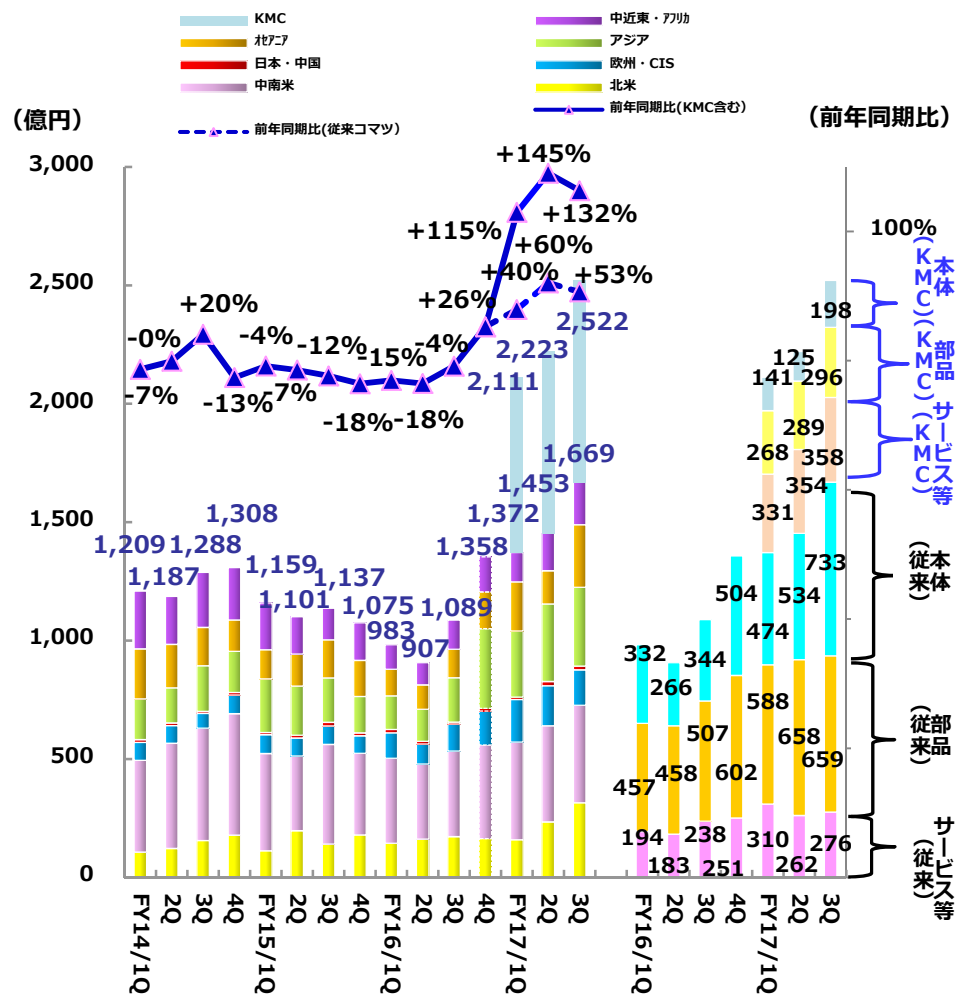


- ・ 2017年度第3四半期の売上高は、前年同期比+132%増加の2,522億円。KMCを除く従来コマツの売上高は前年同期比+53%増加の1,669億円。
- ・ 従来コマツのベースでは、インドネシアなどでの需要増加の影響を受け、本体、部品、サービスともに売上が増加。

鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)

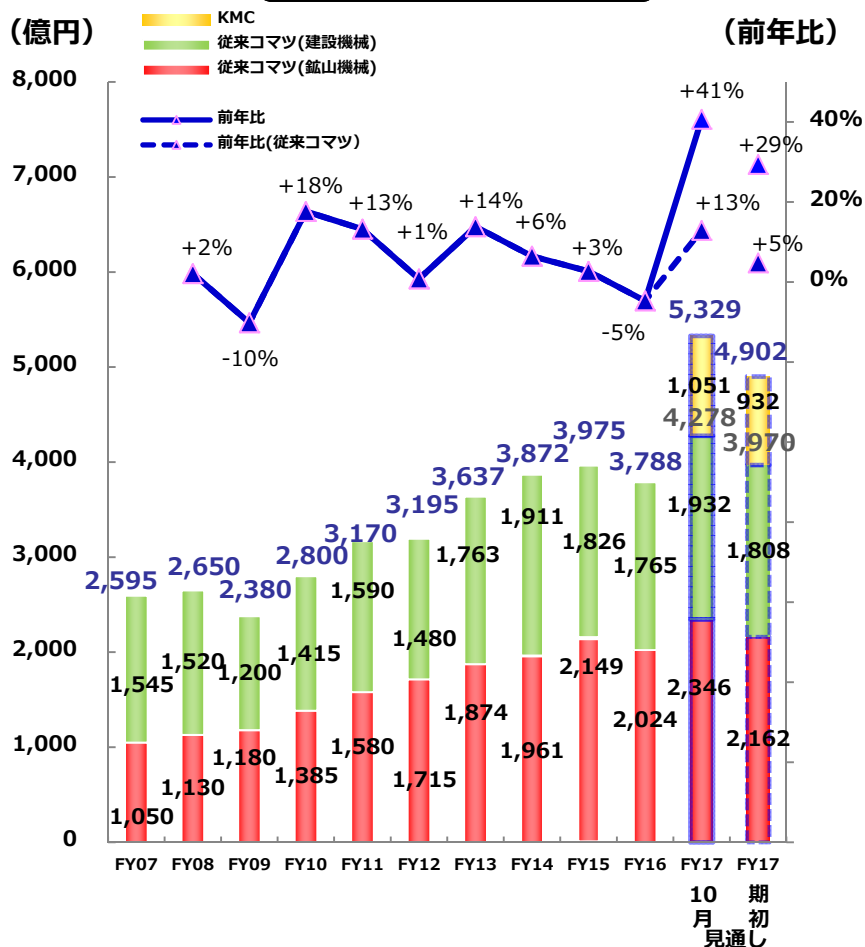


鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス等含む)

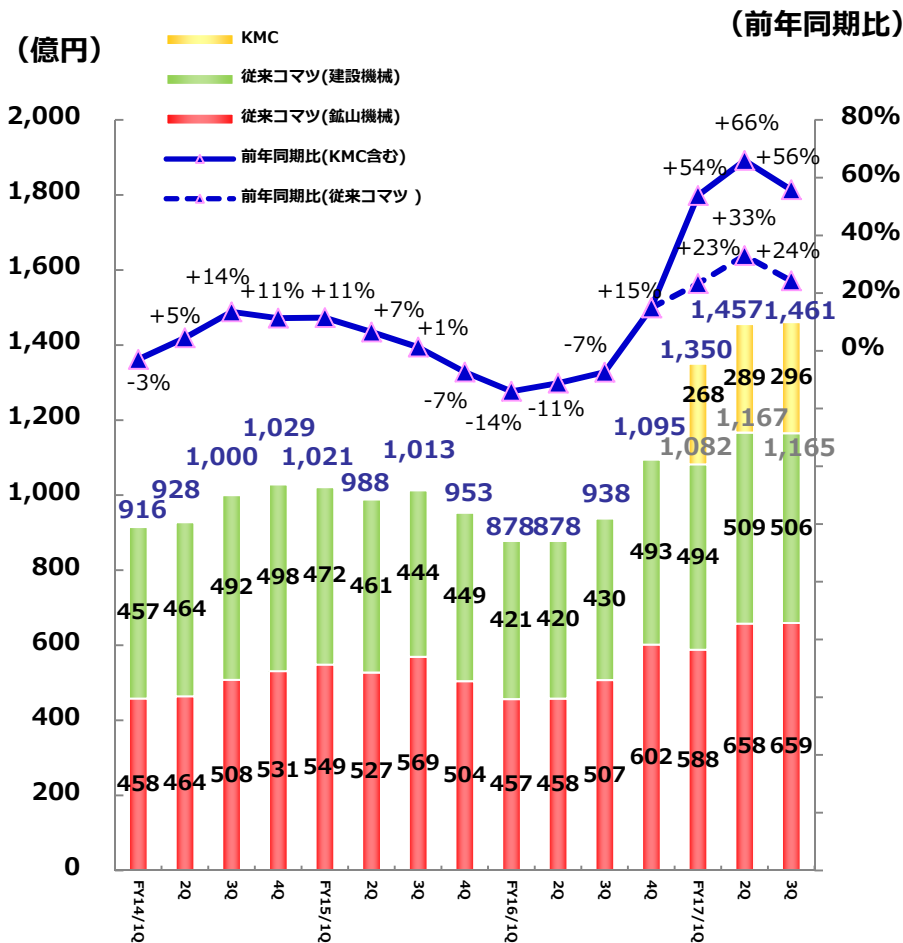


- ・2017年度第3四半期の部品売上高は、前年同期比+56%増加の1,461億円。KMCを除く従来コマツの売上高では+24%増加の1,165億円。
- ・アフターマーケットの需要を確実に取り込んだ結果、当期の売上げが前年同期比で増加。

部品売上高



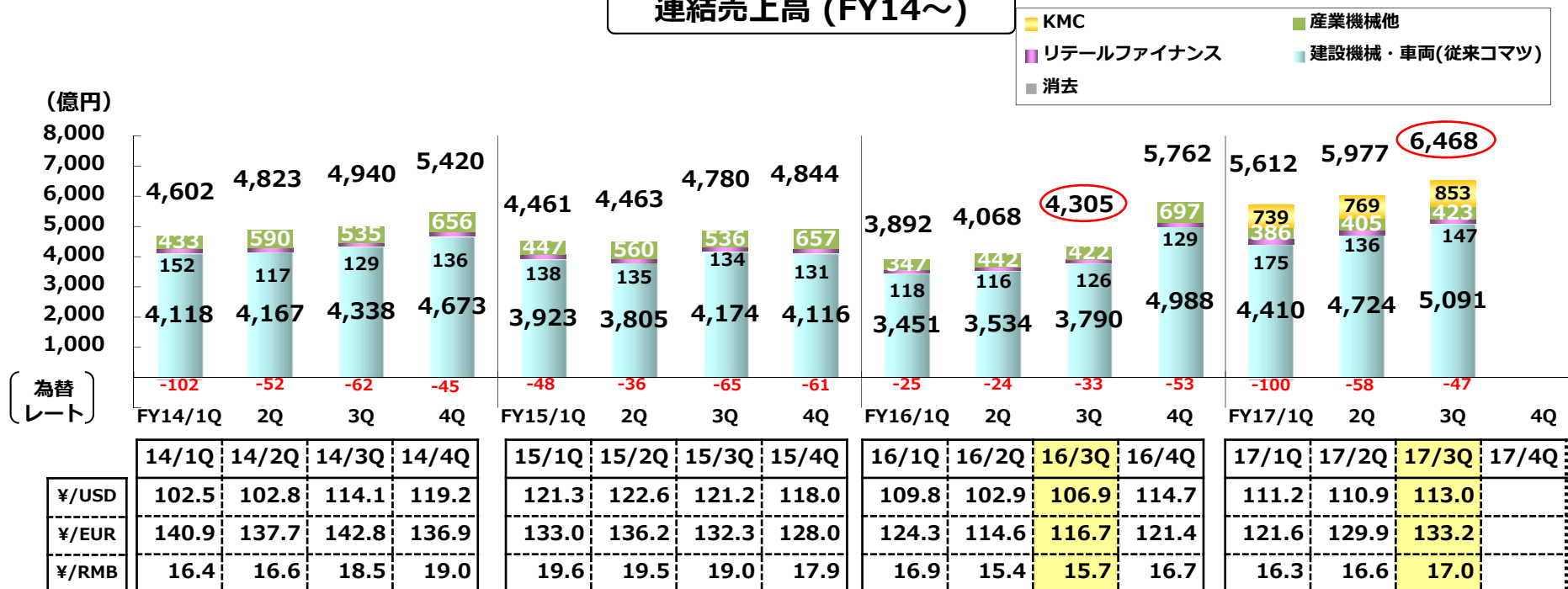
四半期別 部品売上高推移



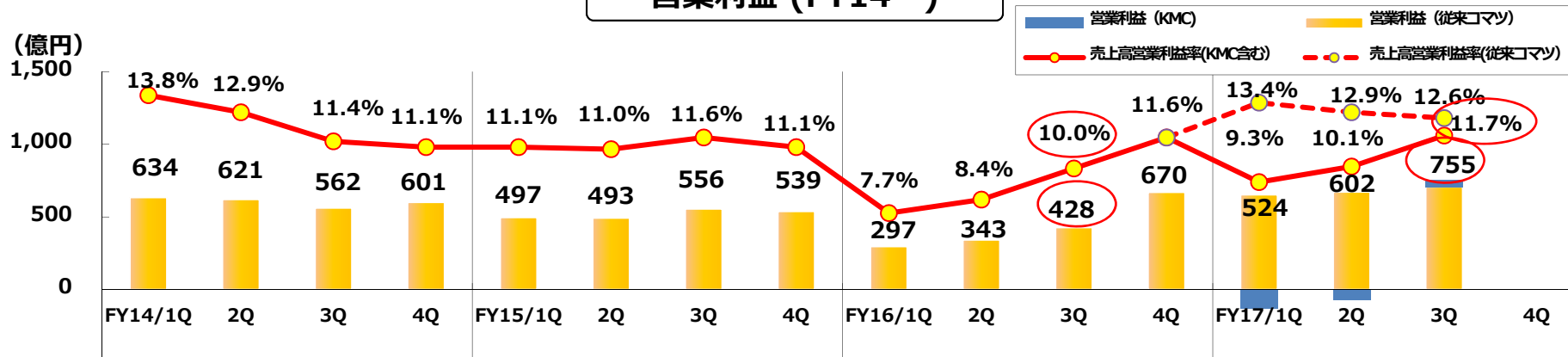
参考資料

四半期毎の売上高と営業利益の推移

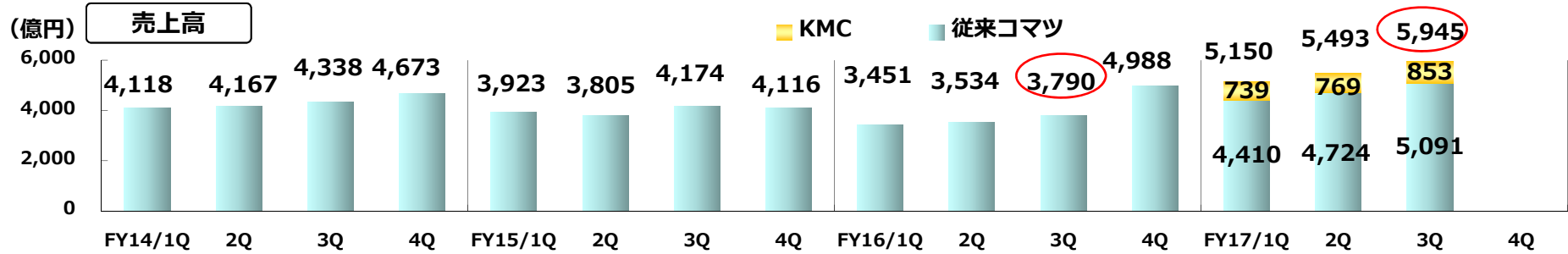
連結売上高 (FY14～)



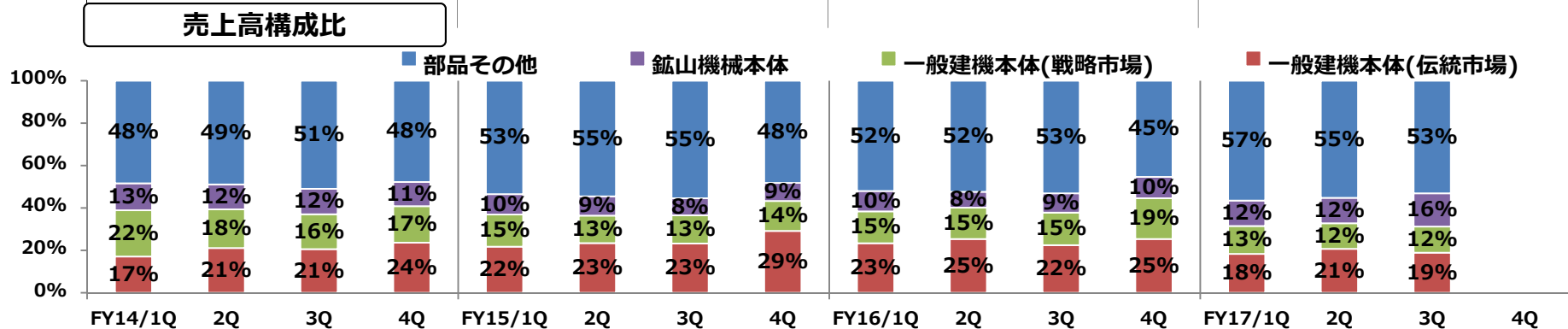
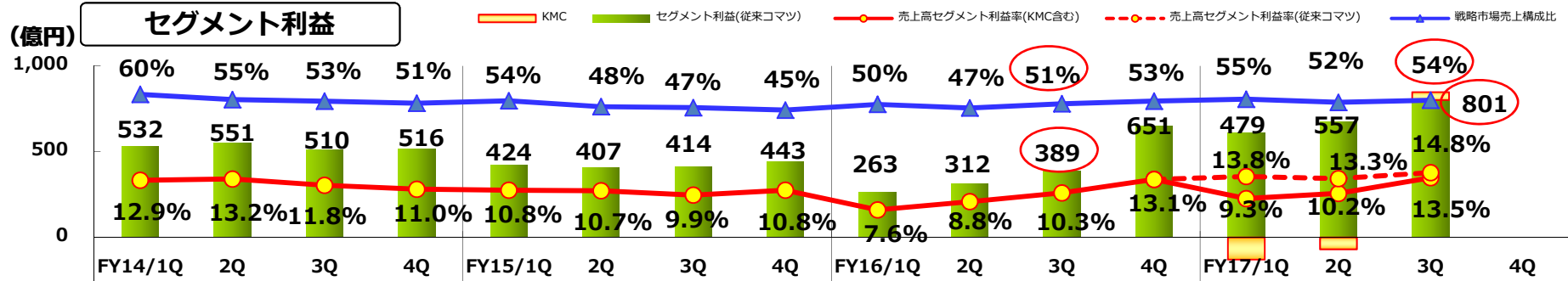
営業利益 (FY14～)



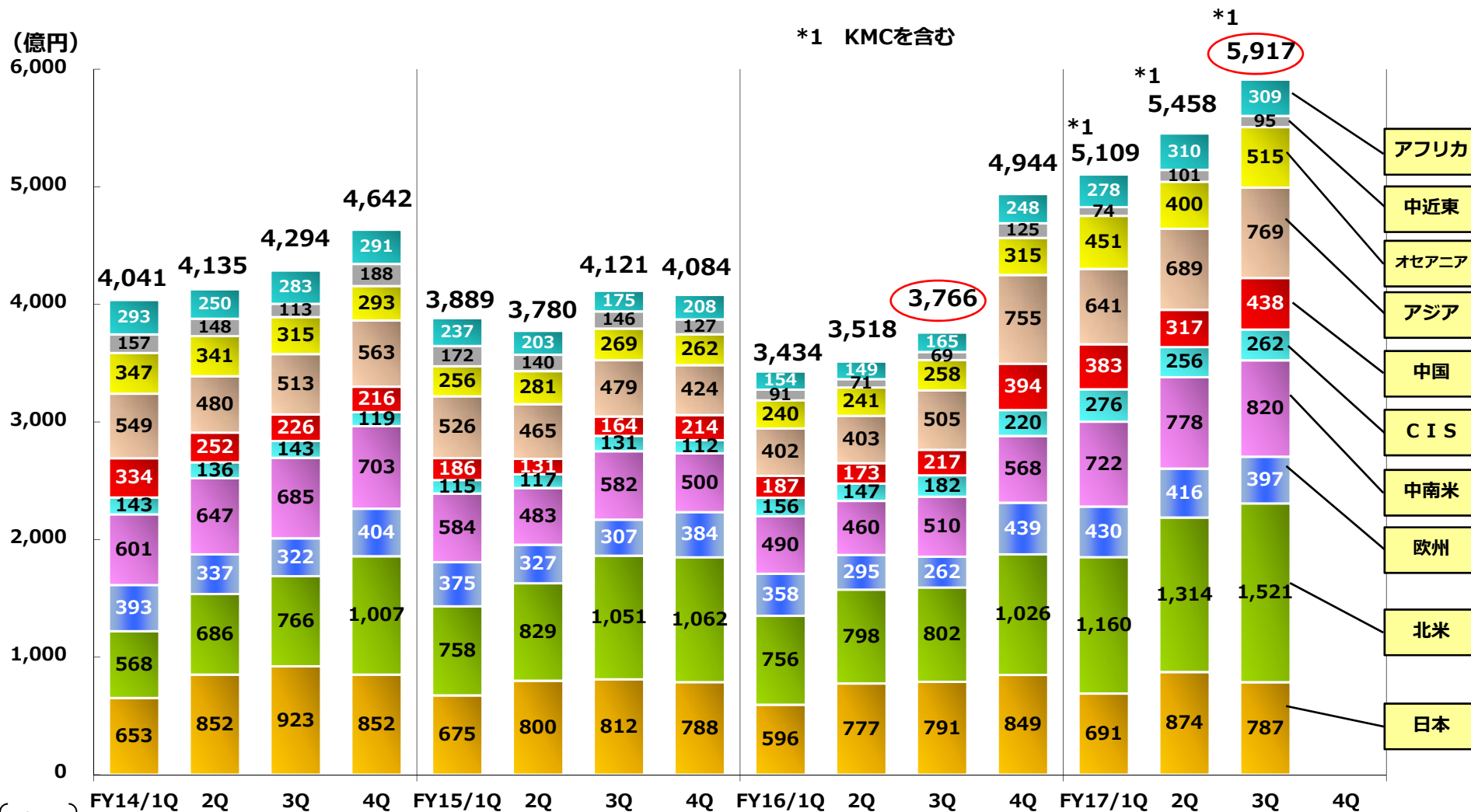
＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q
¥/USD	102.5	102.8	114.1	119.2	121.3	122.6	121.2	118.0	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	
¥/EUR	140.9	137.7	142.8	136.9	133.0	136.2	132.3	128.0	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	
¥/RMB	16.4	16.6	18.5	19.0	19.6	19.5	19.0	17.9	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	

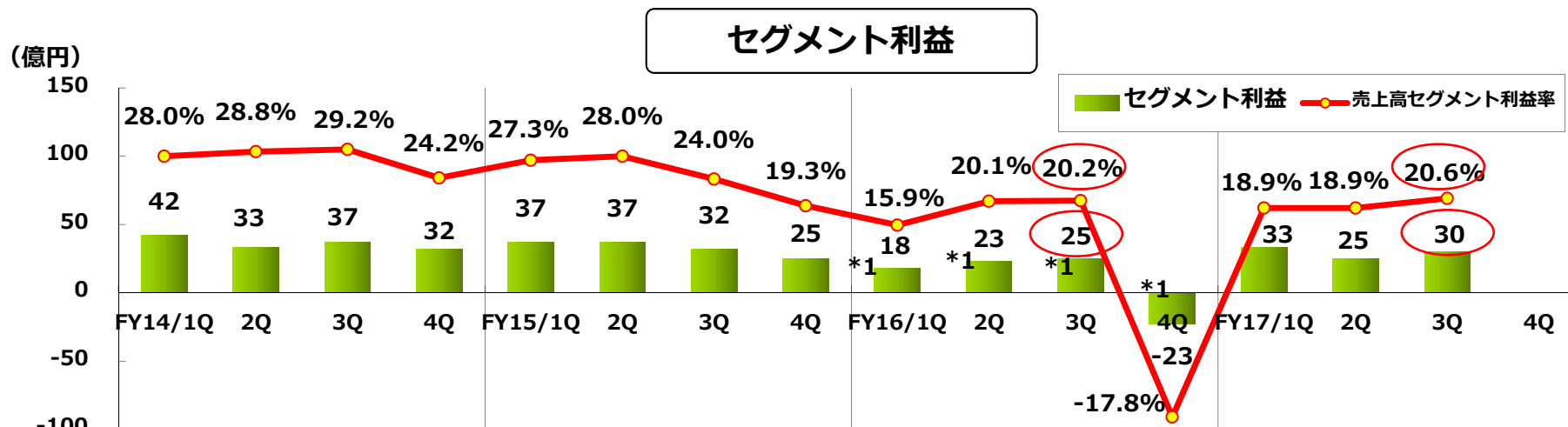
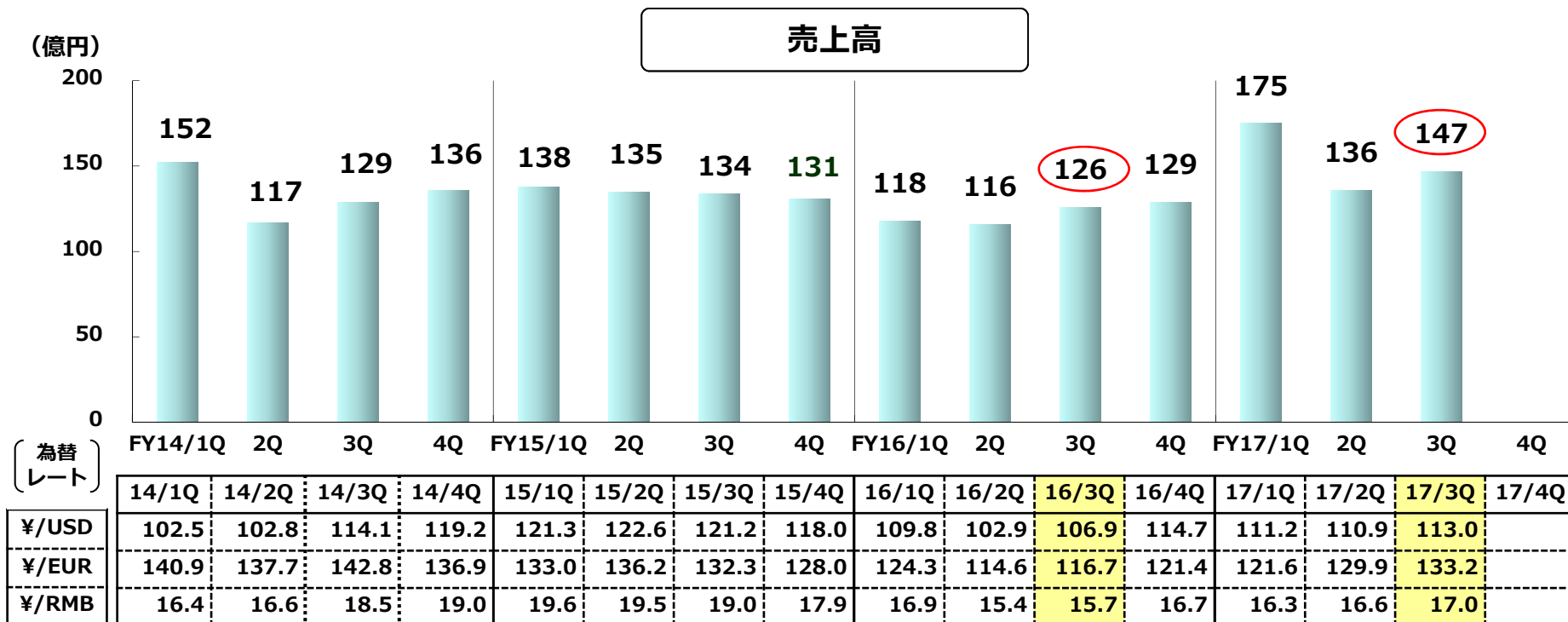


＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）

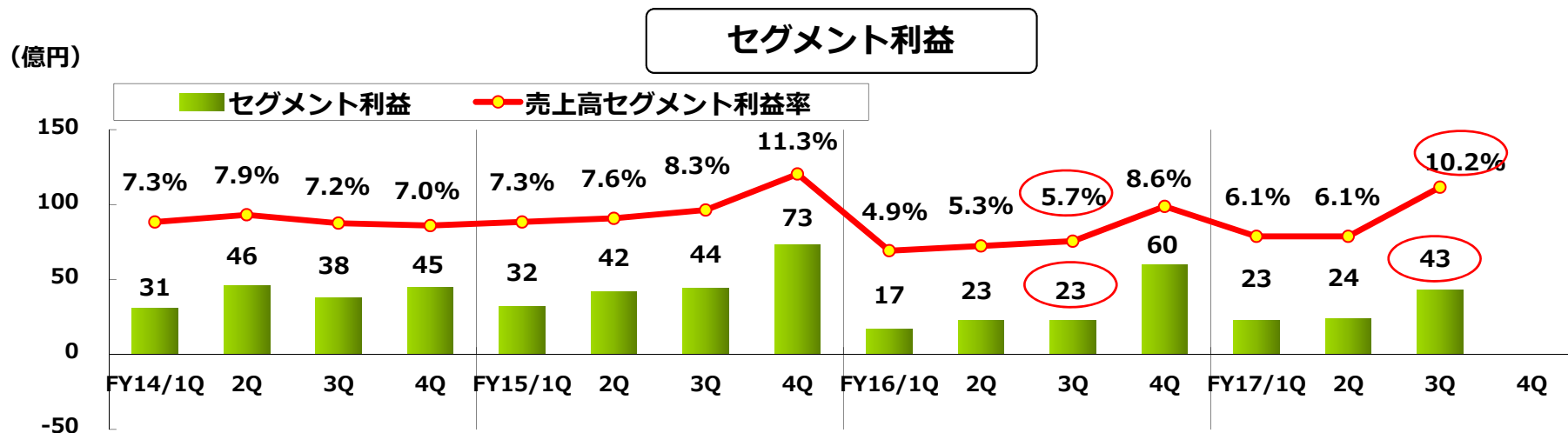
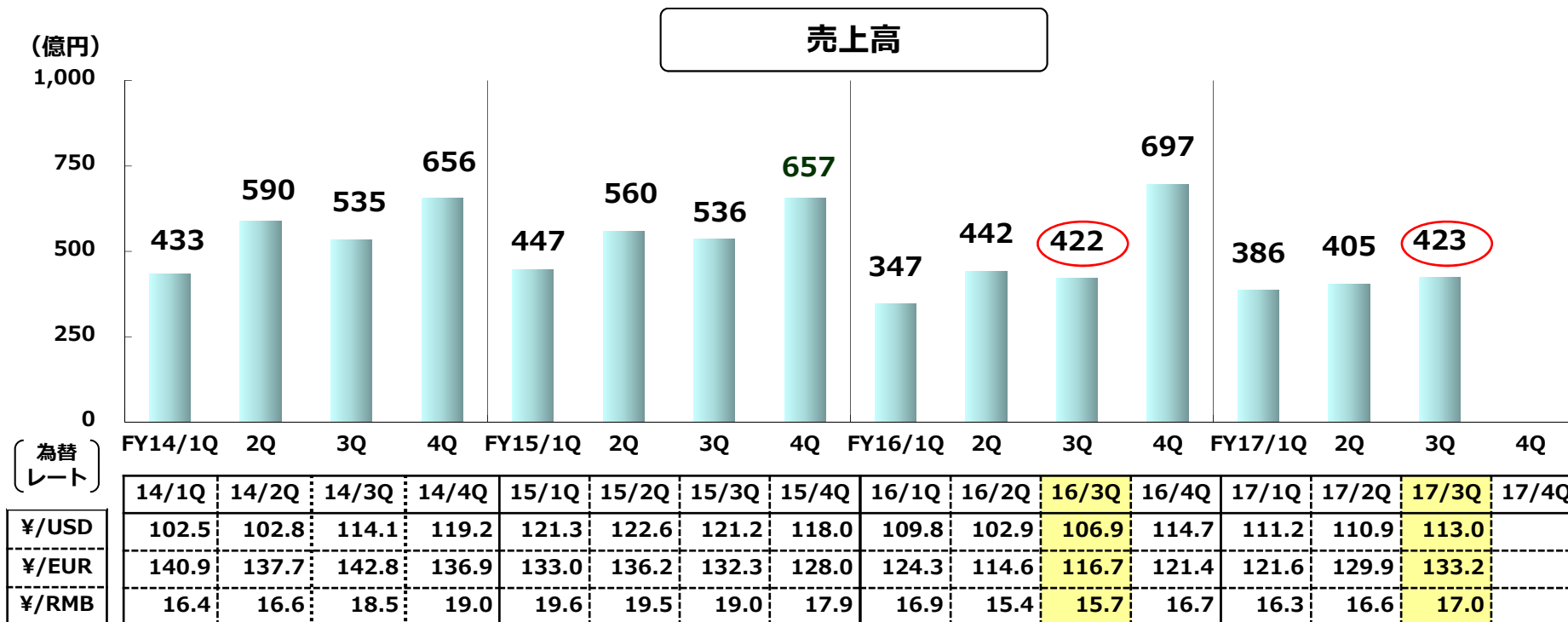


為替レート

為替レート	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q
¥/USD	102.5	102.8	114.1	119.2	121.3	122.6	121.2	118.0	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	
¥/EUR	140.9	137.7	142.8	136.9	133.0	136.2	132.3	128.0	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	
¥/RMB	16.4	16.6	18.5	19.0	19.6	19.5	19.0	17.9	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	



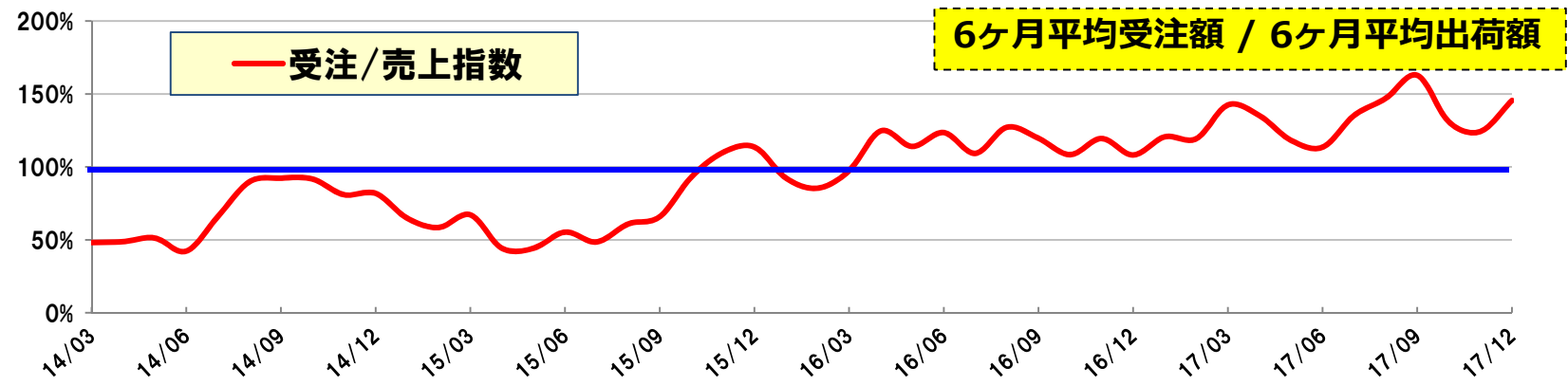
*1 中国の債権に係る引当金の計上を含む (FY16/1Q:▲10億円、2Q:▲5億円、3Q:▲2億円、4Q:▲49億円)



鉱山機械（本体） 受注／売上指数（6ヶ月）

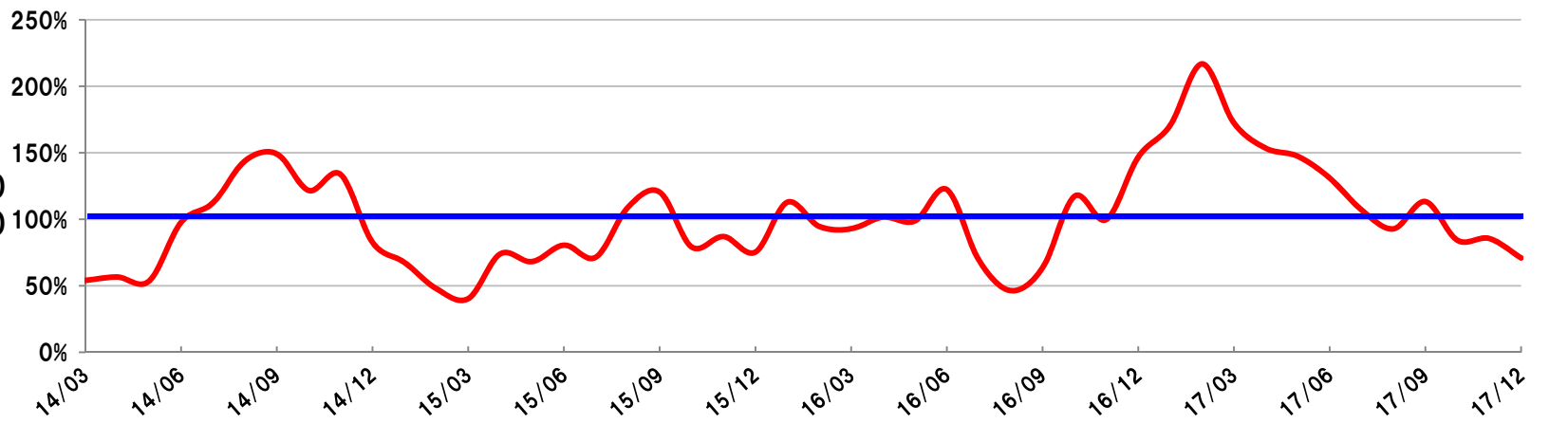
**コマツアメリカ
（マイニング）**

730E, 830E
860E
930E, 960E
980E



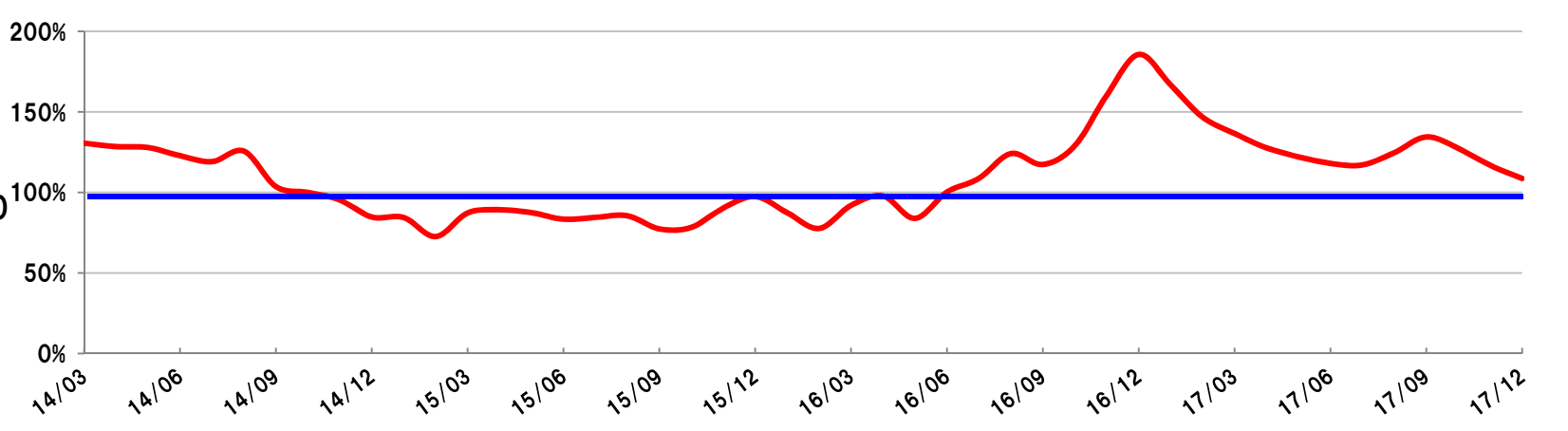
**コマツドイツ
（マイニング）**

PC3000, PC4000
PC5500, PC7000
PC8000

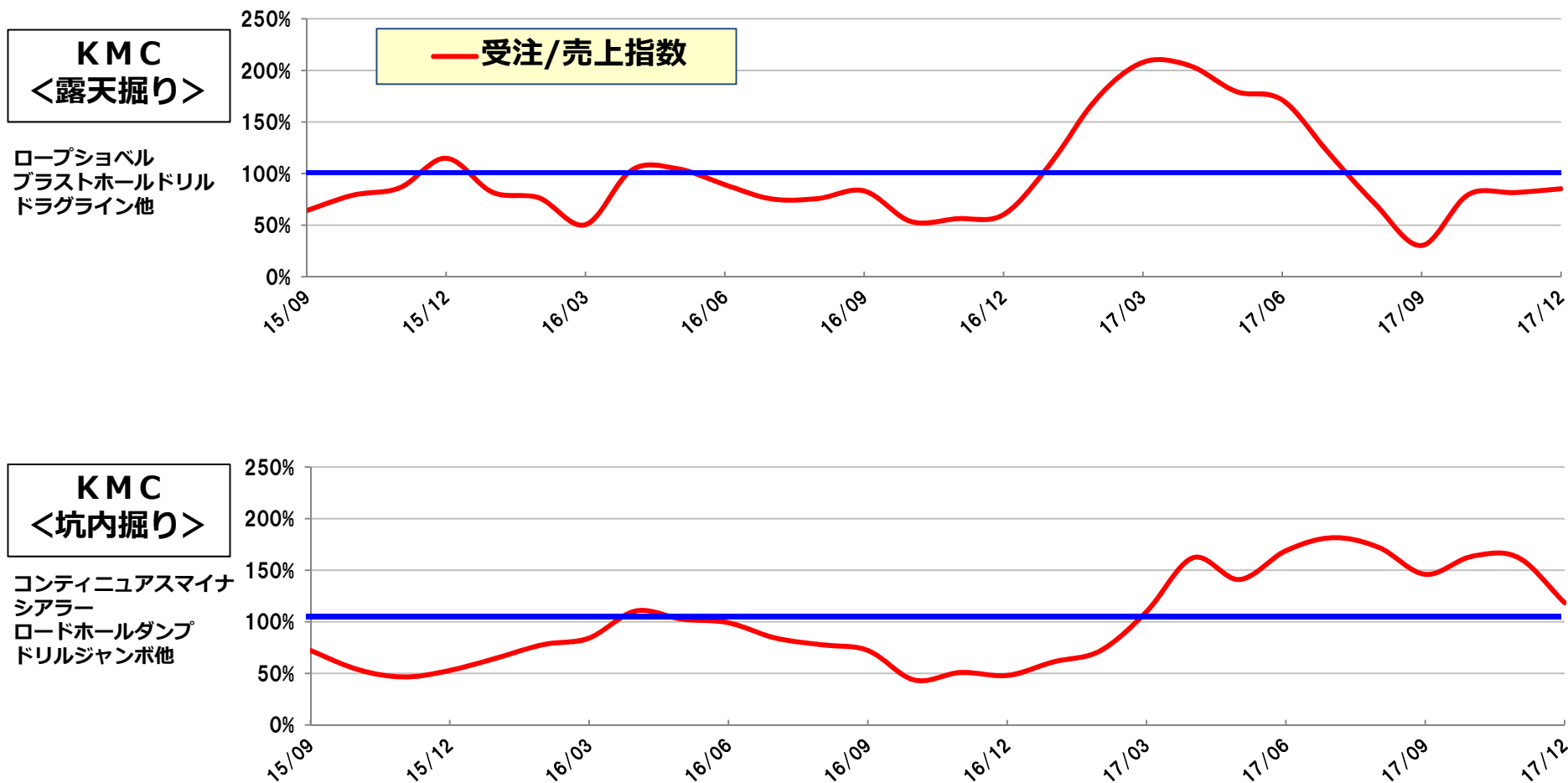


**コマツ単独
（マイニング）**

HD785, HD1500
PC2000, PC3000
PC4000
WA800 up
D375A up
GD825A up

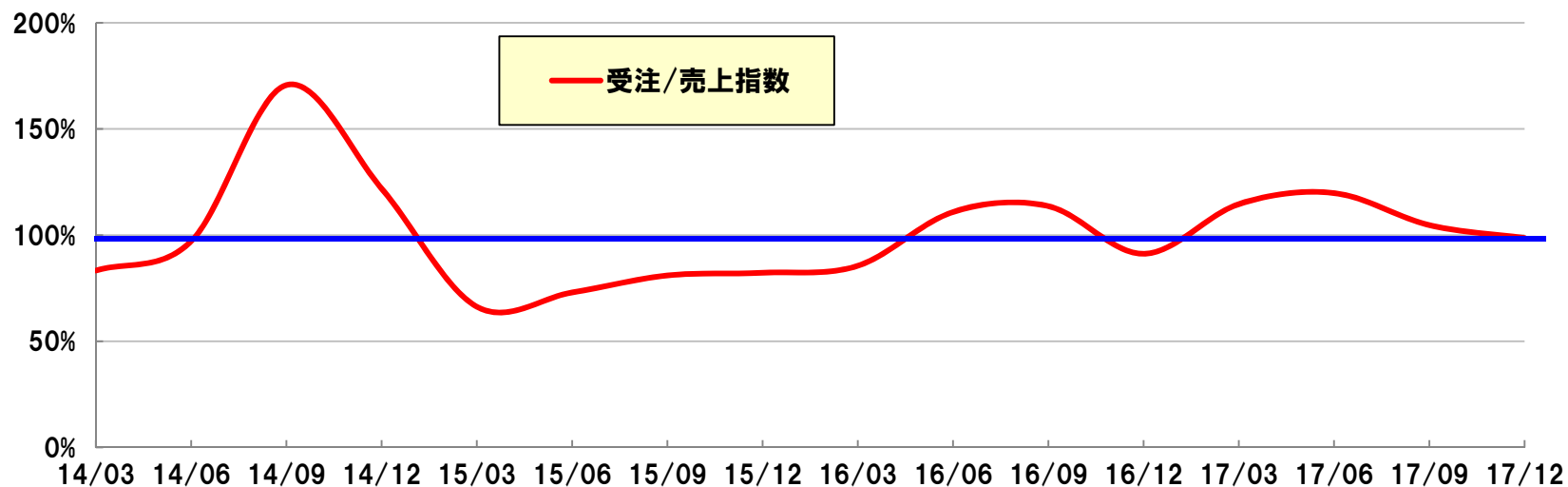


6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

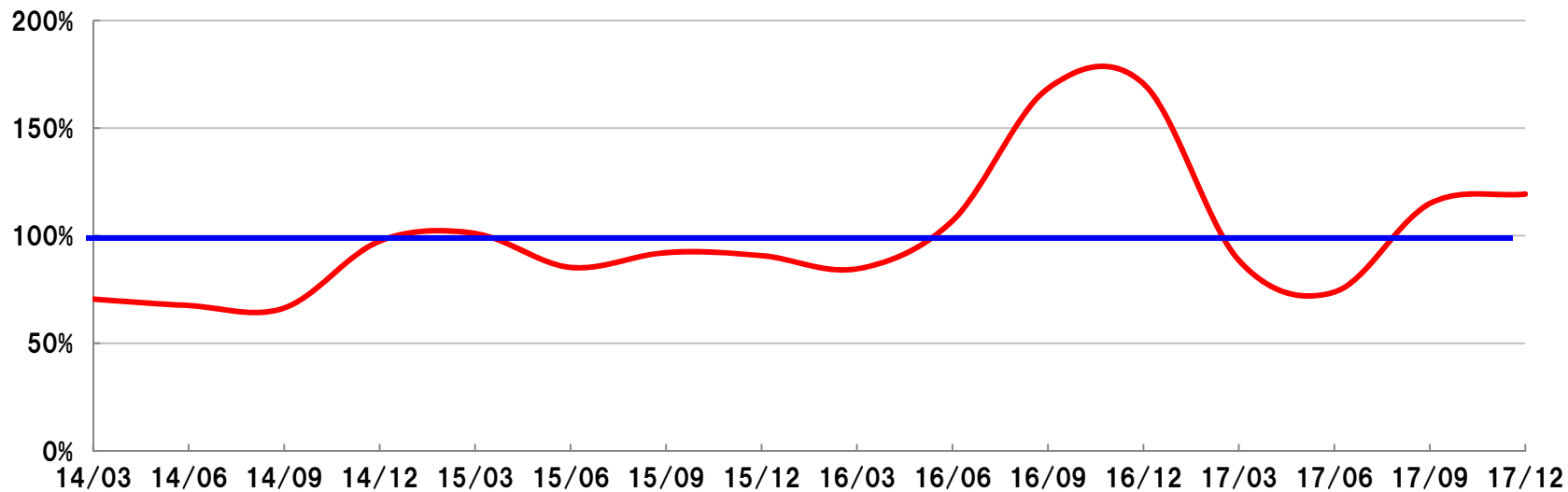


コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC
(除くワイヤーソー)



無人ダンプトラック運行システム商用導入10周年 稼働台数100台超えを達成、既存稼働鉱山の無人化を加速

コマツの鉱山向け無人ダンプトラック運行システム（Autonomous Haulage System、以下 AHS）は、商用導入開始から今年で10周年を迎え、豪州・北米・南米でのAHSダンプトラックの稼働台数は、合計で100台を超えました。

これまでの10年間に稼働環境の異なる鉱山現場で実証・蓄積したAHSの安全性・生産性・環境性・システム柔軟性に対する高い市場評価を踏まえ、コマツは鉱山現場でのAHS導入を一層加速していきます。



AHS改造後付キットを搭載し
無人稼働する830E
(場所：豪州リオ ティント社鉄鉱山)

コマツは、カナダ Prenbec Equipment Inc.（本社：カナダケベック州、CEO：Charles MacLennan、以下「プレンベック社」）およびそのグループ会社が保有する林業機械用アタッチメント事業（QuadcoブランドおよびSouthstarブランド）を買収する契約をこのたび締結しました。2018年2月中を目処に本買収を完了する予定です。



Quadco製のフェリングヘッドを搭載したコマツの林業機械

<プレンベック社の保有する林業機械用アタッチメント>

【Quadcoブランドのフェリングヘッド】



【Southstarブランドのハーベスタヘッド】

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。